京城日報 十七日夕刊
THE KEIJO NIPPO 大正十三年十二月十八日（木曜日） 第六千二百二十九號 （明治三十八年九月十日第三種郵便物認可）
京城府大和町一丁目 發行所 京城日報社

圍碁上達新法 初段ー二段

行財政整理後の第一回知事會議開かる

意義深き總督總監の訓示

道知事會議は既定の如く十七日午前十時から第二會議室に於て開催された。出席者は各道知事の外各局部長課長等であつたが、これ實に下岡總監就任以來最初の道知事會議であり、且つ行財政整理後初めての道知事會議である。會議は既定の如く其最初に於て別項の如き總督の訓示ありこれに續いて別項の如き下岡總監の訓示要旨が發表せられ更に總督の指示が別項の如くあつた。斯くて知事の意見の發表があり午後四時會議全く終了を見たが、今回の行政整理により中央地方分權等が斷行せられたのみならず、新任知事も尠くないので、この會議により實に行財政整理後の統治方針が指示された譯である。

施政の一轉機に際し政務の刷新に努力せよ

齋藤總督の訓示

茲に道知事會議を開くに當り一言所懷を陳べんとす惟ふに本府始政以來皇化の加はる所官民協戮の結果として統治の成績稍見るべきものありと雖も今や民衆生活の安定を圖り經濟發展を試むるに於て更に積極的の施設を要するの秋に際會す然るに比年財界の狀況に因み財政の現狀亦其設施を鈍じ整理を行はざるべからざるの情勢に在るに鑑み中央政府の方針に順應し一般經費一千五百萬圓並に公債支辨一千萬圓を節約することゝし之れに伴ふ行政整理を斷行したるが近く官制其他の改正を見むとす各位宜しく這次整理の趣旨を諒得し部下を督勵して形式的政治の弊習を打破し事務の簡捷と職員能率の增進とを圖り以て從來に勝れる成績を擧ぐるに努めらるべし

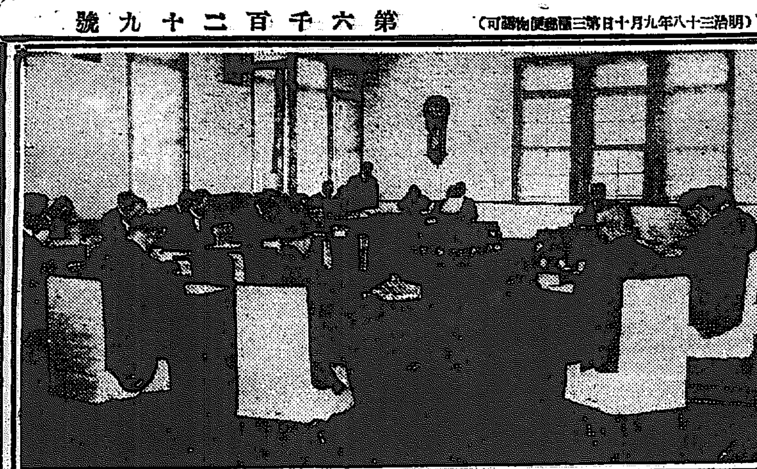
地方財政に關しては從來緊縮の方針を採りたりと雖も時運の推移は動もすれば膨脹の傾向あるを免れざるのみならず今回整理の結果國庫補助の減額打切等に依り影響する所少からざるべきを以て各位は殊に本府各部長會同の際指示したる趣旨を體し緩急宜しきを酌して撤底的整理緊縮を行ひ銳意之が實績を擧げ財政の基礎を確立するに遺策なきを期せらるべし

經濟發展は帝國刻下徹の急務にして內鮮を通じて其切要を感ずるを以て勤儉の美風を興し一般に消費を節すると共に從來輕視せる職業を普及せしめ財用を充足し他日の經濟に備ふるの覺悟あるを要す各位此の點に關し一段の策勵を加へられむ事を望む

鮮內各地に瀰れる本年の旱害に對しては之が救濟の方法を講じ旣に相當の經費を投じ被害方面適切の事業を起さむとする計畫なるが各位は此等事業をして本來の目的に副はしむるに努めらると同時に徒らに官憲の施設のみに依賴せず地方民衆の自衛を促し彼此相援ちて共濟の實を擧げしむことを望む

官紀の振肅に付いては從來機會ある毎に各位の留意を求めたりと雖も此が實行に至りては事固より容易に非ず介位は克く時弊の存する所を洞察し部下を指導し不斷の覺省加へしめ更に進みて一般の風氣を振勵するに努めらるべし

上述の諸項は時務の要綱を擧ぐるに過ぎず其詳細に亘りては政務總監より指示する所あるべしと雖も今や施政の一轉機に際し政務の刷新を圖する時にして各位の盡瘁に俟つもの愈多しと[illegible]し



道知事會議 十七日總督府にて

上院改革案は今議會に提出か

現在の特色を存置するとに政府と三派の意見一致

【東京電報】貴族院改革に關し別項の如く三派と政府と會見に於て今日の貴族院をして民衆化せしむるか或は現在の特色を存置して二院制度の妙要を發揮せしむべきかの根本論は戰はされたが結局現在の特色を存することは兩三派側で一致した爲三派側では政府は上院改革案を今議會に提出する意ありと確信してゐる

政府側の回答

銳意調查中で日限は云へぬ

【東京電報】貴族院制度改革問題に關する三派交涉委員と政府側委員との會見は前報の如く十六日首相官邸に於て開かれ先づ三派交涉委員代表小橋一太氏より政府側の改革根本方針如何を質したるに對し各種の材料を蒐集し世界各國の制度を調査し我邦に關する特有の問題を考究してゐる政府側でも最も急いでゐるが今直ちに日限を明言することは出來ないと回答をした

革新派の態度强硬

犧牲を拂ふても上院と戰はん

【東京電報】革新俱樂部の秋田清氏は十六日午後五時首相官邸に首相を訪問し貴族院改革の同意を求め臨時貴族院制度調查委員と三派との會見顛末を報告し今後の對策を協議した本問題は貴族院と徹底的に戰ふ決心を要し或は普選案、行財政整理を犧牲とする場合もあるべく斯るデリケートの問題であるが革新俱樂部は相當强硬の態度を持する模樣である

總督指示事項

中等學校移管の件等

道知事會議に際する總督指示は左の如し

第一 官立中等學校、測候所及道慈惠醫院を道地方費に移管の件

（一）官立中等學校の移管

（二）測候所の移管

（三）道慈惠醫院の移管

第二 金融組合理事の進退並理事見習の採用委任に關する件

第三 警察官配置計畫の件

整理の趣旨を體し半島政治の面目一新に努力を望む

下岡總監の訓示

私が現職に就任してより既に半歲に垂んとするのでありますが今迄道知事會議開催の機會なかりしに今日各位と親しく意見を交換する機會を得ましたことは寔に欣幸とする所であります

朝鮮は本府治政以來既に十有四年を經過しましたが此の間畏くも明治大帝の宏猷を發し聖上の大御心を體し奉り內鮮一家の理想を實現すべく著々其の步を進めつゝあり統治の成績は相當見る可きものあるのであります是は一に官民協戮各方面に努力を拂つた結果であるのは今更めて申す迄も無いことであります然し乍ら統治の理想より觀れば纔に進步の一過程を辿りつゝあるに過ぎないのでありまして顧に鮮內千七百萬民衆の福利を增進し日鮮融合の聖旨を貫徹するには其の前途に幾多の難關ある事を覺悟せねばならぬ私は其總督を輔佐し微力聊か其職務を完うし樣と心掛て居りますから各位に於きましても十分援助を與へられ職務の努力を捧げ形式より精神に亘り質に一步々々深く踏み込んで施政の徹底を期せられむことを切望する次第であります

行政及財政の整理

行政及財政の整理は中央政府の方針でもあり朝鮮の現狀が其斷行を要する情態に在るに鑑み今回のそれ〳〵之が措置を爲すと共に時勢に順應して事務簡捷の方途を講ずるに至りましたことは既に各位の諒知せらるゝ通りであります今其概略を敍ぶれば財政緊縮と之に伴ふ行政整理と事務簡捷の三に區別することが出來るのであります

財政緊縮

近時我國經濟界の不振は朝鮮の財界を脅迫し延いて總督府の歲計豫算に多大の影響を及ぼし其歲入額る減縮と爲つて來ました是に於て總督府は大正十二年度に於て政府の豫算緊縮方針に順應して事業の繰延其他に依り千百餘萬圓の節約を行ひ次で大正十三年度に於ても亦實行豫算に於て若干の節減を行ひたるも尙歲入の減少を補足し得ざるの狀況でありました殊に大正十四年度に於ては歲入缺陷千七十萬圓に上る見込であります時來歲計の均衡を計るが爲には財政の一大整理緊縮を斷行するか何等か新財源を求むるか二者其一を選ばざるべからざる岐路に立つたのであります時恰も現內閣は過去の放漫政策を一變し帝國財政の基礎を鞏固ならしむるが爲に行財政の大整理を敢行する方針を定めました是に於て總督府に於ても此方針に順應し先づ財務機關の特設を中止し行政財政の根本的整理を斷行することゝし委員諸君始め關係者の方々が夫々數ケ月に渉り鋭意調查研究せられたる結果が即ち明年度豫算及本月一日以降の淘汰改革と爲つて實現するに至つたのであります

今次整理の大概に付述べんに明年度整理節約の總額は實に二千五百五十餘萬圓にして整理の基本となれる總經費總額一億二千百五十餘萬圓に對し二割強の節約であります而して此の內制度の改廢、事業の打切其他節減によるもの千五百五十餘萬圓、各種繼續事業に對する事業の繰延に依るもの千餘萬圓であるのに倣ひ高等官約三百五十名、判任官約八百五十名判任待遇者約二千名合計三千二百名を整理し外に雇傭總數約一萬人の內二割五分を淘汰したのであります然らくは內地各省及各殖民地を通じて最も大規模に最も徹底したる整理であると信じます此の如く多數の從事者を出すに至りたるは誠に情に於て忍びざるものありと雖も大局の上より已むを得ざる事と御諒知を願ひたい

行政整理

行政組織の整理改善に關しては一般に渉りて冗員の淘汰を行ひたる外勗めて機關の組織を簡單にし聯絡ある事務を同一局部に統一し又官紀に鑑み必要を認めざる施設を廢しました今其概要を摘出すれは

（一）本府に於ては組織を簡約にするか爲庶務部土木部監察官の制度を廢止し內務局に[illegible]課の廢合を行ひ行政講習所も本年度限り廢止することに致しました監察官を廢止すと雖地方の政務は夫々關係部局の者をして時に應じ監査視察せしむる見込なるも大體に於て道知事各位の自由裁量に一任し總督府は其の大綱を監督する方針であります又行政講習所は地方行政官吏を致養し必要なる學識を授け醇良なる人格を陶冶する目的を以て設置致したものにて之を廢止致しますのは之等の事項は地方に於て實務に當りながら克く指導するを適當とし事務多端の折柄特別途勘定を存續する程の必要を認めないに由るのであります各位は平素周到なる注意を以て地方官吏の教養に十分御盡力を願ひたい

（二）勸業模範場に於ては群島出張所支場と洗浦牧羊支場を廢止し中央一試驗所に於ては蠶業の[illegible]

（三）稅關に於ては元山稅關南浦兩稅關を廢し支署を置き新義州稅關を新設すると共に稅關出張所九ケ所を廢止

（四）通信機關に於ては二十七郵便局を廢止し之に代る郵便所を新設

（五）裁判所に於ては法院支廳中天安永興盈德蔚珍府山錦山を廢し之に代り登記事務を取扱ふ爲法院出張所を新設

（六）刑務所に於ては永登浦刑務所及江陵濟州二支所を廢止することに致したのであります

從來本府に設てありました各種委員會の中には主務局課に於て或は大體に其目的を達し若くは今日の情勢に於て殆ど必要を認めないものもありますので之を整理する方針で先づ高等土木會議、臨時教科書調查委員會、產業調查委員會、朝鮮史編纂委員會、[illegible]調查委員會等を廢止することに致しました

更に地方分權の主義を徹底して廣く從來總督府に屬して居りました官立學校中京城師範學校京城高等工業學校を除く外中等程度の官立學校及測候所を道地方費に移管することゝ致しましたが道の現狀は直に全部の負擔をすることを困難とするので之に對しては國庫より現在の所要經費の大體八割見當でありますか移管後は一層經費を節約し能率を增進して補助金を支出すると共に衞生上教育上十分注意を加へ寧ろ從來に勝る成績を擧ぐることを切望します

官制改正の公布は二十四五日頃になる

行政整理に伴ふ官制改正は樞密院審議の結果、豫定より延期のことに決定の結果なる由にて官制改正の公布は二十四、五日頃となる見込であるが整理期間延期の期日は近く通牒ある筈尙未發表者に對しては整理期間內に發令さるゝ豫定、其順調にして二十日前後に發令ある見込、補充者に付ても永く延發の筈なく部下整理等の關係上至急發令方を通じ居り整備は全部通過したるに依て近く發表の筈

事務簡捷

御承知の通り官廳の事務は逐年繁雜を加へ且其の態樣の變化益甚しい情勢でありますから之が對應處置として事務の簡捷を圖ることは一は以て民衆の利便を增し一は以て事務の激增に依る職員增加を防止する效果を齎すのであります今回の整理に際しても亦之に關する措置を講じた次第であります即ち

權限委讓 從來總督の權限に屬しました事項を地方官に委讓いたす事で例へば公有水面埋立の處分は悉く總督の權限に留保したものを廣い範圍に於て委讓し河川工事に關する處分權限を擴張し新に面の使用料に關する認可權金融組合理事の進退並借入金の認可權等を委任し神祠に關する許可權を移し其の他官有財產並面、學校組合、學校費、鄕校財產、森林、漁業、教育等に關する處分の內適當と認むるものを擧げて地方長官の權限に移すことに致しましたが之は六十件以上の數に達して居るのであります

認可經伺等の制限の撤廢 本來地方長官の權限だるに拘はらず監督の必要よりして本府の認可承認經伺等の手續を要しめつゝありまする事項を中地方に於て十分の責任を以て執行せしむるも其の制限を撤廢するも何等支障を來さぬと認めたものを廢止した、例へは道路規則中認可事項の大部分を廢止致した如き道地方費の使用料手數料の廢止並臨時恩賜金事業の經理及貧理方法の認可府協議會員解任の認可民事訴訟提起の認可を廢せむとするが如き市場に關する承認制を撤するが如き其他各般に亘り約六十件に及ぶのであります

煩瑣なる手續の省略 例へば地稅の一時徵收額二圓以下を三圓以下に改め年額十錢未滿の公共團體賦課金を免除し徵稅事務の煩を避けむとするが如き少數の組合員を有するに過ぎざる學校組合の議員選擧の手續を省略せむとするが如き又府尹郡守島司面長の權限を擴張し學校費及指定面の豫算認可を全部道に移し面の一時借入金認可權を郡守島司に移し初等程度の私立學校に對する監督權の一部を府尹郡守島司に委讓せむとするが如きものであります。叙上の結果法令の改廢を要するもの約四十件に及び尙所屬官署委任事項規程の改正に依り新に下級官廳の權限に移しましたものが五十八件に及むで居るのであります。斯く致しまして地方官の責任が一層重きを加へたのでありますから各位は克く部下を督勵し苟も責任を回避せず敏速正確に事務を處理せしめ政務遂行に遺憾なきを期せられたいのであります

注意要項

法令の簡約 凡そ政務を[illegible]整理の趣旨を徹底せしむか爲には各種の御留意を請ふ諸點を列擧いたしまして各位の御留意を請ふ次第であります[illegible]完全に遂行せしむか爲には法規を制定し之を準繩として施行しなければならぬことは更めて申述もないことであります然るに動ゝすれば煩瑣の弊を生じ從つて實效を擧け難いものとなり法規かあり殊に多數の民衆か法的訓練に缺て居る地方に在りましては一般此の點に意を注ぎ努めて法令を簡約にすると共に時勢の趨勢を察し中央集權の弊に陷る事なく認可とか承認とか經伺等下級官廳に對する制限は之を必要の程度に止むることに深甚の注意を拂はれたいのであります

報告の整理 各種の報告を下級官廳より徵することの施政上必要であることは勿論でありますが之に要した時間と勞力と經費との割合に效果の認めらるゝぬ報告を徵する例は必ずしも少くないと思はれますので本府に於きましても報告例等に付詳細取調べ其の廢して可なるものは之を廢し改めなければならぬものは之を改め夫々整理を加へる考でありますが道に於ても此の意を體し克く報告を利用する效果と手數とを較査し下級官署の負擔を徒に加重せざる施措に出でられたい

會議講習會整理 從來本府に於きましては年中行事として各種の會議並事務打合會を開催いたしたのであります勿論重要なる新規の事業に着手する如き場合は克く計畫の趣旨方針を呑み込むでもらふ爲に當務者の打合を必要と致しまするか名を定例に藉りて本府に召集するか如きは絕對に之を避けなければならぬと思ひまするので、明年度より道部長以上を除くの外は每年定例に開催することなく必要の都度之を開催し成へく書面に依り指導若は打合を爲すの方針であります之は時間と經費を節約し事務の遂行と府郡島面監督を一層周匝ならしめむとする趣旨に外ならぬのでありまするから道に於ても之に準して會議や事務打合會の如きも整理せられたい又講習會等の如きも執務に必要なる智能を與へ能率增進を圖るか爲に必要ではありまするか極めて喫緊のものでない限り當分本府に於て之を開催せぬことに決定致した次第であります

繁文褥禮の省略 執務に際しては繁文褥禮を避け形式に泥まず空理空論に馳らず誠心誠意事務を敏速に捌くやう部下を指導督勵せられたいと思ひます凡そ事務簡捷は處務方法の改良に俟つ所が多いのであつて殊に極めて僅細なる面も平素不知不識の間に行つて居る點に於て改良を要するものがあるのでありますから常に研究的態度を採るやう仕向けられたいのであります

高級職員中心主義 執務方法は部長並課長が中心となつて遲滯なく事務を處理し上級より下級に移すといふ順序を取り長時間案件を下僚の手に握らしむる弊に陷らぬやう留意せられたいのであります既に本府の如きも今回處務規程を改正し收受文書はそれぞれ當該課長に配付し課長に於て前審議の必要あるものゝ外直に處理方法を指示する樣に致すのであります

事務分掌を細分せざること 道に於ける課の個數を限定致しましたが是は徒に分課を多くすれば人員の融通を困難ならしめ且民衆が其の當該事務の所管を辨ずるに不便を感ずる等の點を考慮して之が改正を見たのでありますから課內の事務分擔の如きも細分に失せず常に事務の質と量とを査察して人員の減少を補ふて何等の支障を來さざるやう措置せられたい

民衆本位 道廳に於ける各官か道治の衝に膺るや克く本府の方針を體得遵守することの必要であるは申迄も無いとでありますが往々見受ける所の中央のみに向ひ責任の果すことに汲々たる氣分でなく下級官廳乃至民衆に向つて精神の籠つた行政を行ふといふことに留意せらるゝと共に府郡島面の吏僚も亦徒に上級官廳を目標としての行政を避け民衆本位に徹底せる取扱を爲すやう十分指導督勵を加へられたいのであります

來年度豫算案梗概

大正十四年度本府特別會計豫算は總額一億七千三百餘萬圓にして內新に增加したる鐵道作業費四千二百餘萬圓を控除するときは約一億二千百萬圓にて之を本年度實行豫算總額一億四千八十餘萬圓に比すれば約二千萬圓の減少であります而して一般會計より繰入るべき政府補充金は從前の如く千五百萬圓にて本年度に比し公債金は將來に涉りて減少せられ一千萬圓を計上することゝなりました

前述の如く整理節約の方針を以て來年度豫算を編成し大體新規事業を認めざる方針を採りたるも朝鮮刻下の情況に照し產業開發の急務なるを認めたから事理の依り節約し得たるものを、積極的の事業に轉用しました第一には殆んど事業中止の非運に陷れる治山事業を復活するの必要を認め今回新計畫を興して明年度に於て四十萬圓を支出し別に造林事業獎勵の爲新に約三十萬圓の補助費を計上し兩者合計七十萬圓を以て此急に應じ尙林野調査の終了せる係爭地の所有權を速かに決定し其利用を計からしむる爲林野調査委員會の經費を增加しました第二には多年の懸案たりし治水事業に付ては先つ以て萬頃江、及、載寧江に對し改修工事を實施することゝし總額九百卅萬圓を六ケ年繼續事業として明年度七十萬圓を支出し別に旱害救濟事業として治水費百萬圓を支出する豫定であります第三には水利事業に在りては本年事工事の後を承け明年度に於て當然增加すべき二十餘萬圓の外更に五十萬圓を增額し補助總額三百卅萬餘圓を以て土地改良の促進を企圖するとし第四には蠶業の事業は朝鮮產業開發の上に於て將來最も有望なるものゝ一なるが故に其の根基を確立するが爲先づ桑苗の獎勵に努むることゝし新に約三十萬圓の補助費を計上しました第五には本年度に於て二百八十三萬圓を計上したる私設鐵道補助は將來の線路延長に應せしむるが爲百十七萬圓を增加して總額を四百萬圓とし航路の補助に對しては契約の更改期に際し就航船舶の噸數並航行回數の增加を圖るの外航路の改善新設を企畫しました其の他港灣の修築道路の改築諸學校に對する經費を增加計上したる爲大正十四年度に於て已むことを得さる經費の增加を始め積極的新規經費の總額は七百餘萬圓に達したのであります

次に本年度の旱害救濟に關して一時借入金を財源として總額四百萬圓を追加豫算として本期議會に提出し本年度及明年度に渉りて支出する豫定であります而して之が用途は成るへく直接救濟の方法に依らず水利土木事業を興して間接に窮民を救濟する見込であります其の用途の內譯は治水事業費百萬圓道路修築費八十萬圓水利事業費百四十萬圓直接救濟費八十萬圓の豫定であります

以上豫算と關係ある各種事業に要する事業資金は本年度內に於て約千三百萬圓、明年度に於て約千七百萬圓合計約三千萬圓に達する見込にして之が資金調達方法に關しては種々大藏省當局と折衝を重ねたる結果[illegible]特に低利資金八百萬圓を融通し且殖產銀行及東洋拓殖會社に七百萬圓[illegible]の千五百萬圓に於て調達することゝなりましたてあつて依つて以て右の需要を充すことを得ることゝなりましたから各位宜しく所定の方針に從ひ着々事業の遂行に努力せられたい

尙朝鮮鐵道は大正六年以來滿鮮交通の統一を企圖するの理由を以て南滿洲鐵道株式會社に其の經營を委託し來りたるも之を旣往の實績に徵するに第一には鐵道の經營を朝鮮の事情に適合せしめ殊に產業開發に資するか爲第二には朝鮮內の私設鐵道と官設鐵道との關係を密接にし彼此の聯絡統一を完からしむるか爲第三には營業費を節約し鐵道益金の增加を圖る爲之を總督府に還元するを便利なりと認めました滿鮮交通の統一問題の如きは現在の事情に於て之を滿鐵の經營に委託すると總督府の直營とに依り差異なきものと認めらるゝか故に恰も明年度に於て納付金契約更改の期に際し斷然之を總督府の直營と爲すの方針に決定しました各位宜しく此の趣旨を體して鐵道を地方產業の開發に利用する上に於て遺憾なきを期せられたい

以上總督閣下より其の大綱を訓示せられたる所に依り各位の諒知せらるゝ所なるべきも以上財政行政の整理と明年度豫算編成の概要を說明せる所に依り一層其の意義を各位に闡明し得たることゝ信じます官紀の肅正に關しては平素各位の留意せらるゝ所でありませうが近時ともすれば弛緩の傾向著しきものもありますから各位は這般の改革に依り官臨一般の陣容を新にしたる機會に於て官紀刷新の範を示して部下を率ゐ勵精治を圖り半島政治の面目を一新するに努力せられんことを希望して已まないのであります

尙最後に一言し置く必要あるとは朝鮮統治の大本に關する當局者の態度であります現總督閣下就任以來一視同仁の方針を以て民衆の福利に重きを置かれ其の施政組織を計られたる實績の顯著なることは何人も首肯する所であります今回文官任用上の新例を開き朝鮮人有用の途を廣められたるが如きも施政の改善に伴ふ此の趣意に外ならぬので將來鮮人中有能者は官海は勿論實業界に於ても漸次其の驥足を伸はし得へく益々內鮮融合の實を擧け得るものと信ずるのであります[illegible]ら世間往々此の趣旨を曲解し[illegible]

各道知事宿所

道知事會議に出席せん爲入城したる各道知事の宿所は左の如し

▲時實秋穗氏（京畿）西小門官舍▲朴重陽氏（忠北）不知火旅館▲石鎭衡氏（忠南）朝鮮ホテル▲亥角仲藏氏（全北）巴城館▲張憲植氏（全南）嘉會洞四ノ澤田豐丈氏（慶北）朝鮮ホテル▲和田純氏（慶南）天眞樓▲矢鍋永三郎氏（黃海）大和町二丁目官舍▲生田淸三郎氏（平北）大和町二丁目八六▲米田甚太郎氏（平南）天眞樓▲朴榮喆氏（江原）篩前屋▲金寬鉉氏（咸南）小本旅館▲中野太三郎氏（咸北）京城ホテル

人事消息

▲竹村昌計氏（元海州地方法院長）十六日夜十時發東京に向ふ
▲村上淸氏（元海州地方法院檢事正）同上
▲關口半氏（元平壤覆審法院檢事長）同上
▲草間秀雄氏（總督府財務局長）同上
▲井上八郎二氏（慶北道技師）十六日入城朝鮮屋旅館へ
▲吉山正氏（慶北道技師）同上
▲沈相竑氏（江原道屬員）同上
▲早田福藏氏（海州地方法院檢事）同上
▲田中光政氏（全州實業家）十六日夜退京
▲片桐要治氏（元府金管理所長）退官挨拶の爲め十七日本社訪問
▲林田龜太郎氏（東京每夕新聞主筆）二十日朝滿洲より入城一泊
▲木村正文氏（同記者）同上
▲山縣輝三郎氏　去る二十一日出發伊豆修善寺に滯浴し更に東京に入りて新年を迎へる由
▲新田鐵道部工務課長　十四年度鐵道局豫算說明の爲十七日夜十時發東上し年內に歸城の豫定

茶話

下岡總監の訓示要旨は頗る多岐に亘つたものであつた▲道知事會議が開かれた第一日に多年內地での地方長官の經驗を有する下岡總監の訓示要領を呑み込んでの會議は各道知事に對し諸氏は形式よりも精神に……と說いたのは居るだけ鮮かなものだ▲而して總監は飽迄實行に身をもつて居る▲實にいゝ言葉で此の事は誰しも云ふべくして仲々に行はれぬことだ▲而して更に微に入り細に入つて訓示要旨は實に明快に統治の方針が指示されて居るが▲多年の懸案たる地方分權の斷行から見ても今回の整理は統治の一新紀元になつて居る事は云ふまでもない▲此の一新機轉こそ更に〳〵統治の徹底を期するものであつて實に朝鮮統治は着々として我意を得つゝある▲此の大切な時機に際して新任知事は素より各知事諸君にも一層の奮勵を祈つて歇まぬ。

天氣豫報（十八）

曇 一時晴

十七日正午（攝氏零下）二度八

十六日最高（攝氏零下）九度〇

最低（攝氏零下）一五度六

男にマサル女子の先生 ラークで一ヶ月百圓かせぐ 毛糸編方一人り覺え お金が儲かる！

齋藤婦人手藝部 東京六七八九五番

二月一日くじ 復興貯蓄債券 一等 六千圓 二等 九千圓 三等 一萬圓 四等 一萬圓 五等 一萬圓 七拾圓
福岡支店 日本勸業銀行

頭痛にノーシン

標準 時計 歲暮大賣出し 景品券附 自十二月一日至十二月三十一日 京城本町 村木時計店

蓄膿症に効顯偉大 鼻耳內服藥 チクノール 適應症 蓄膿症・肥厚性鼻炎・中耳炎 製造元 三鱗製藥社 代理店 京城 山岸天佑堂 新井藥房 木村藥房 平田 森田藥房

明年五月十日 兩陛下銀婚式

孝子節婦長老者には當日御菓子料を賜ふ

兩陛下には明治卅三年五月十日に御結婚式を擧げさせられてから明年は恰度滿廿五年に當らせられる事は既報したが宮中では先帝陛下御諒闇中ではあるが先帝陛下の御祝典の際に鑑み國民擧つて慶賀の意味から明年五月十日を期して御盛大なる銀婚の御祝典を催されることに略内定し皇后宮の思召を拜し宮内省では專ら御準備を進めてゐるが、この御祝典の御儀の一としてこの程内務省を通じて全國各府縣知事宛に孝子節婦並に八十歳以上の高齢者の調査方を依賴した是れ等に對しては明年二月頃には調査を終了した上御祝典當日表彰及御菓子料を賜はるとのことであるがこの他にも御慈なる御沙汰もある筈で具體的には今年中に決定を見ることゝなつた右につき宮内當局では『全國に向つて孝子、節婦、高齢者の調査を依賴したのは事實であるがこれは兩陛下の銀婚式を擧げさせらるゝことになつた場合の必要から豫め依賴したもので、銀婚式擧行か否かは皇后宮の思召を伺ふた上決定することゝならうが當局としては遺漏なきやう準備だけは進めてゐる』と語つた（東京電報）

—冬枯れの郊外—

漢江結氷 氷の厚さ二寸

【京城】郡内の漢江は全部結氷し氷厚二寸に及び氷上徒歩を始めた然し自動車荷車等は辛うじて往通し渡船は碎氷して通つて居るが兩三日中に杜絶する見込だ

廿萬圓出して 國境警備を充實

その他諸問題に就て 三矢警務局長釜山で語る

【釜山支局特電】官制改正其他の用務を帶び永らく東上中であつた警務局長三矢宮松氏は夫人と六人の令息令嬢を伴ひ十七日朝上陸し九時十分發の列車で北行赴任したが車中に於て語る『官制改正は來る廿日頃までに可成永、滯京であつたが朝鮮に關する官制改正は來る廿四日頃には決定即日發表となる見込みである自分は滯京序でに居催促をして居つたが其結果を見て來たい積であつたが許されぬ事情もあるので兎も角歸任する事にしたのである新聞に傳へられてゐる如く官制改正の結果朝鮮に於ける警察部長に新に鮮人の手腕家を登用する問題に就ては可なりの議論もあつたが結局任用出來ない事情もあるので實現はしない、又豫て傳へられてゐた國境の警備の計畫は理想ではあるけれども實現は極めて至難であつて先づ見込みは無いと云ふて差支へない、が其代り師團の要求人員は減じない筈であると同時に二十萬圓の經費を支出して機官の增員を取ることに決定した財政緊縮に際してゐる

秩父宮御渡歐 牛津大學へ御入學

社會學を御專攻 御出發は明年五月

秩父宮殿下御渡歐については宮内省にて皇后陛下の思召しを奉じ御準備申し上げてゐたが愈々明年五月十一日横濱出帆の伏見丸にて御渡歐の事に御決定である御滯英は二年の御豫定であるが當然は四年を要すべく明後年の新學期よりはオツクスフオード大學に入學あらせられ一般學生と同様に社會學を御專攻あらせられると（東京電報）

英佛語に御堪能

秩父宮殿下には殊に佛語に堪能であらせらるゝが御渡英と決するや去る七月より松平恒雄夫人を御相手になり一週三日間の英語の御稽古を遊ばされ最近は非常の御進歩であります（東京電報）

兩殿下の御婚儀について宮内省では御渡英前に御婚約に御内定、御歸朝後御婚儀を擧げさせられる由である（東京電報）

非常に運動好き 秩父宮御日常

殿下の御近狀に付前田事務官は語る『殿下は非常に御壯健にて朝は必ず六時に御起床あらせられ晴雨にかゝはらず御徒歩で御殿から陸軍大學に御通學になります又午後五時半から一時間又は御夕食後一時間御學問所にて御進講を御聽きになるが學科は一木博士の法律、姉崎博士の宗教、加藤氏の漢文、佛人ガウルター氏の佛語等でありますが七月からは英語も御稽古を始められた又殿下は御運動に非常に御熱心で何種でも御好きでありますが此の冬には休暇を御利用遊ばされて赤倉温泉へスキーに御出かけになる御豫定であります（東京電報）

入學試驗が近づくが 準備教育は斷じてやらぬ

志望者も減る見込 森京畿道視學語る

地方分權に依り移管されるため京畿道立學校は來る四月の新學期から中學、商業、師範、農業の十校となるが之に學校組合の設立に係る女學校三、商業學校二、あるから實際の監督下にあるものは十五校となる

學年末が追々と切迫につけて可憐な少年少女の胸を痛ます入學試驗も次第に迫つて來る譯だが入學願書受付を開始され二月中旬に締切りとならうが此の不況續きと多數官吏の退職などの關係から入學志望者も例年の如くならず保護者の退鮮者などが京城丈けでも可なりの數に達してゐる狀況で從つて志望者が少くなれば入學も樂に出來ると云ふのが一般の觀察である併し學校の志望者數はやはり入學者數を超過するのは明かであるから小學校としては一人でも自分の教子を多く入學せしめやうとする師弟の麗はしい心から受驗期日の切迫に伴れて各校共昨今努めて必死となつて準備教育に努力する一方家庭に歸つてからまでも補習的のものや課外準備教育を強要する傾向で今後斷じて行はぬ事になつてゐる目下各小學校共放課後一知明得外の豫習復習を行つてゐる樣だが之は入學試驗に對する準備の爲めでなく家庭の事情で自由に勉學の出來得ない兒童の爲め或ひは劣等生補導の意味で教師が特に時間を割いて行つてゐるが之とても強制的に要めてゐるものでない、準備教育必ずしも惡いとは言はないが、要は程度の問題で兒童の能力を濫用に陷らしめないこと或ひは一方に偏した取扱があつてはならぬ、然し道内では今後入學試驗の爲めの準備教育は全然實施しない方針となつてゐる

若く美しい新夫人を迎へる前田侯爵さん

消防課を獨立して 消防署を新設

道の事務分掌規程改正で 刑事消防兩課は自然消滅

十五日附官報號外で道事務分掌規程の改正が發布され「警察部に警務課、高等課、保安課及び衛生課を置く」と定められたので京畿道警察部の刑事課と消防課とは自然消滅とならねばならぬが兩課共に其必要な縮減して居るので特に存置する樣總督府に稟請中であるが昨今の形勢では何うも存置が困難らしい。殊に京城の警備消防は大正十四年度から一切京城府の經營に移され國庫から府に補助して補助すると云ふ事になるらしく左樣成れば警察部として消防課を存置する理由が無くなる。然し京城府内の消防を統轄する爲めに京城消防署の新設を必要とすく結局消防署の新設を見る事となるべく消防課は京城府費で經營して警察部が指揮する事になると觀測される。馬野警察部長は曰く

『道事務分掌規程が發布される以前から京畿道としては消防刑事兩課存置の請願を出してあつたが官制規程が發布されて見ると刑事課も消防課も存置出來ぬらしい愈々不可能であれば刑事課は保安課に合併し消防課は將來獨立した消防署と云ふ樣な機關の新設を必要とするに至るであらう。今の處では總督府から兩課存置の可否を確答指示して來ないので對策も決せぬ

英國の皇子 東洋御漫遊

【倫敦十五日發】英帝の第四王子ジョージ殿下（一九〇二年生）は明年一月支那東洋方面へ御漫遊の御豫定にて...

晉州神社に 道廳移轉問題に就て祈願

晉州郡文廳では約三十名の有志が...

木から墜ちて

十六日午後...

料亭銀月に 家明渡訴訟 家賃不拂から

府内旭町一の二〇料亭銀月...

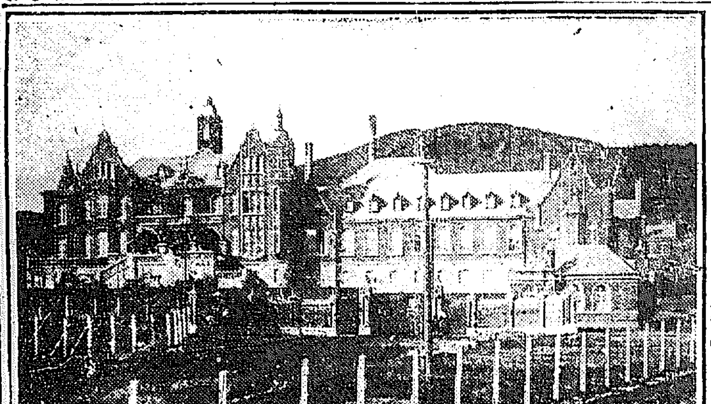
加藤總裁の五萬圓事件 被告懲役三年

加藤總理の五萬圓事件被告...代言は...懲役三年を求刑された判決言渡は十二月二十日の豫定（東京電報）

朝鮮の禿山へ 萩を植へる 二年目から採草

不良少年團 鍾路署に逮捕

乞食凍死



新築落成した安東領事館

この頃の泥棒 夜よりも晝に多い

『ボロ賣りません……』 此奴等が物騒だ＝當局語る

不景氣の爲め今年末は府内に窃盜が多く是を昨年末に比較すると左の如き增加を示して居る

	忍込み	空巢狙
▲昨年 十一月	一六六件	九六件
十二月	一七一	七二
▲今年 十一月	二四六	一八三
十二月	二〇三	一〇五

（但し十二月は十二日迄の現在數である）

右に就て京畿道刑事課の野村警部補は語る『窃盜被害を時間別にして見ると概して晝の方が夜よりも被害が多い。今月十日迄の統計で見ると

午前十一時より十二時迄	六九件
正午より午後一時迄	七一件
午後一時より二時迄	七四件
同二時より三時迄	七三件

と云ふ數字に對し夜の方は少し減少し

午後七時より八時迄	五七件
同八時より九時迄	五二件
同九時より十時迄	五四件
同十時より十一時迄	四八件
午前一時より二時迄	四八件
同二時より三時迄	二三件

と云ふ事になつて居る。夜よりも晝の方に被害が多いのは...

大馬賊團 開道を襲ふ 首領は有名な女馬賊

朝鮮副業協會で 餅の賃搗する

置屋荒しの賊

馳落者取押

共濟無盡忘年會

四十年目の竹馬會

思出多き 中將や博士が泣いたり笑つたり

銘仙と毛糸
お正月の仕度にもお歳暮の御贈答にも最適の御品を取揃へて居ります
京城本町 ちゝぶや

防寒製品荷捌 在庫一掃 特賣發表
勉強主義
流行型 オーバーセツター 毛メリヤス・裏毛メリヤス・防寒綿毛製品各種
相場表送呈
大阪市西區京町堀三丁目 製造元 大谷商店

セルロイド製懷中鏡
早川商店

宇野平一郎氏所藏 書畫骨董大賣立
十二月十九 二十 兩日下見
二十一日賣立
京城美術倶樂部

カガシクリーム
なる程美しくなります あなたの素顏もお化粧がほも、カガシクリームの御常用で
本舗 丸善化粧品部

正月のお料理
家庭に居ながら料理が覺えられる
正月號出來……直ぐ御入會あれ
東京割烹講習會

各種特別會計廢合

和平統一を企圖し 日本の援助を求む

平田内府

電興平電の提携に就て
米田知事と高崎技師の斡旋を謝す
多大の料金値下を期待されては困る
平電專務取締役　横田虎之助氏語る

【平壤】朝鮮電氣興業株式會社と平壤電氣株式會社との間に於ける電力供給問題は平壤に於ける一大懸案であるばかりでなく西鮮電力統一、無煙炭の活用等の方面から考へても朝鮮的の問題である從つて總督府に於ても從來再三之れが交渉を取りたるも幾多の事情がその間に介在して今日迄解決の運びに至らなかつた事は遺憾とする處であつたが機運は漸く熟し過般來米田知事並に高崎電氣課長の一方ならぬ斡旋に由り兩社も大いに互讓の精神を發揮し去る十一日契約を締結する事となつたが、契約の主要なる點は契約期間を五ケ年とし此の期間平電は電興より電力を購入し現在の發電所は豫備として不斷の手入を怠らず毎月二三回少時間の運轉を試み何時にても新興の發電に故障を生じた場合に備へる事とし又從來兩社の動力供給數制限は大同江の左岸十馬力、右岸へ(市內)三十馬力であつたのを何れも右馬力の制限に準め制限以下を平電以上を電興にて供給する事に改めた而し電興が既に供給して居る動力は勅令制限以下であつても既得權として飽迄しその配電を平電で取扱つても其收益は電興が取得する事と定めた、五ケ年の契約滿了後は更新する事とし萬一繼續せざる場合も平電の發電設備が完成する迄電興は引續き送電する等が主要なる條件で其他の細目に亘る協定に關しては高崎技師に立案を委託して居るが近く出來上る事と思ふ、ただ電力購買料金は兩社の秘密に屬するので公表する事を得ないのを遺憾とする尚受電設備の爲めに要する設備並に線路の改修等は成るべく速かに着手して監督官廳の檢査を願ふ事にして居る、平電としては從來の發電所運轉維持費と購買電力料金の差額から受電後の發電所維持費並に配電所費を差引きたる剩餘金は全部之れを電力、電燈料金引下げ額に充當する趣旨を以て料金改正に關する詳細なる標準の調査を作成し監督官廳の嚴密なる調査を仰ぎその認可を經て料金の改正を實施する事になつて居る、然れども其の程度は昨今新聞紙に傳へられて居る如く多額の値下は不可能であらうと思ふ若し世間で多大の値下げを期待されて居られと何となれば從來平電の料金は朝鮮に於ては京城に次ぐの低廉の料金で給與して居つたからである、要するに將來とも兩社は協調一致を保ち一つは電氣發生を一つはその販賣に當り融通の爲めに努力する事を念とする次第である

木浦商議新事業
【木浦】木浦會議所では明年の新事業として左の諸項を遂行すべく今回山野會頭より發表した
一、棉花制度の改善及之れが根本的解決
一、南沿岸との取引助長及同方面への定期船就航
一、濟州島との取引改善
一、發動機船專用の棧橋築造の件
一、水產試驗場設置
一、物產陳列場木浦移轉の件
一、長崎大連線の實現と木浦寄港
一、北海道釜山間の島谷汽船を朝鮮西沿岸に延長せしめ木浦と日本北岸北海道樺太方面との交通開拓

朝鮮林檎の 批評と希望
【平壤】平安南道內務課では下關門司、神戸、大阪の各商業會議所に朝鮮產移出林檎の批評並に希望を求めた所が各地から各種の回答に接したが綜合すると大略左の如きものとなる
△品質、內地產に比し勝る殊に下關、大阪にて好評なり然れども右兩地に於ては紅玉の日持ち惡き爲今少し早期採收を希望せり
△玉揃、不良內地產に比し著しく劣る改善の要多し特に下關よく熟望せり
△容器、下關、門司にては正味三貫詰を理想とし大阪にては四十斤詰を要望せり
△箱詰、特に缺點なきも一層可成空隙なきを希望す下關にては車詰に依らす樽詰(對角線に詰むる法)を希望し大阪にては籾殼よりも木屑詰を歡迎せり
△荷造、推獎すべきものなし一層改善を要す下關にては鐵帶卷のものは取扱不便の爲自然亂雜となり荷傷み多きを以て針金卷とし其上に棚掛をなすことを希望せり
△歡迎せらるゝ品種、祝、倭錦、ラック、紅玉、新紅玉、國光等なり
要するに今一層選果を嚴重にし荷造包裝を堅固ならしめ荷傷みを輕減することは最も肝要なり而て容器の大さは前記各地方の取引慣習に從ふを得策とすべし

京畿林野調査 了る
京畿道に於ける林野調査は愈々終了し林野總面積は五百萬町步と決定した而して之を道全面積の八百三十万町餘に對比すれば六十%強で地籍二百四十七万町步餘に比し約二倍、總面積地の四十万町步餘に比し五十倍、無籍地の六十八万町餘に比し七倍に相當する。更に全土の使用狀況を割合で示せば人々の居住する垈地は道全體の一%弱、穀物等を生產する耕地が二十九%強、薪炭及木材を供給する林野が六十%強で、雜種地即ち沼澤社寺地等が一%弱、河川道路、溜池堤防等が八%強と云ふ割合になると

仁川兩市場 公設經營是乎非乎
物價が却つて昂騰しては困る
【仁川】仁川に於ける野菜市場、魚市場の兩市場は從來殆ど鮮、支人の自由經營に任せてあつたが道廳では二十戸以上の集團を有する市場に對しては市場取締規則の適用により、公設市場たることを要すとの道令に基き仁川府廳に對し府營と爲すべき旨を數回に亘り勸告して來た模樣で府廳としても上司の指示とあれば默過する譯にも行かず之れが調査研究を遂げて公設市場とする意嚮らしく傳はるが果して公設市場として府營に移つた曉、從來より廉價に商品の提供を成し得るや否や、頗る疑問である、何となれば目下市場經營者は主として鮮人、支那人の兩者で共に勞銀安く、生活程度低級なるが故に低廉なる値を以て顧客の滿足を買ひ得たりと雖も若し之を府營とせんか、假りに從業者は以前と變りないとしても既に市場取締法による營業稅百分一の市場稅は物價の上に加算されねばならぬのみならず市場取締の爲に特に其事務員を附設するに於ては更に之が經費は自然市場物價の上に影響することゝなるであらう、然らば公設市場たるが故に却て物價は高いものにつき、市場公營本來の趣意に悖るものではあるまいか斯くては只一片の法規の爲に、顧客は勿論、市場商人共に非常な不利に陷り迷惑千萬な問題である、凡そ事の是非は時と處とを考へて……出張所等にあるか分らぬが、兎に角他に比して低廉なりとは言へない然るに幸ひにして市場のみは彼等獨特の經濟振によつて多少廉價に日用雜貨の供給を受け一般顧客も喜んで居る時に當つて俄に、公定相場に依つて其調節を圖ると言ふ、價格高きに上る虞ある公設市場の設置は餘り好ましからぬ問題である、然し一部新聞の傳ふる處では府は此點を考慮し單に名目を公設市場たらしむるに止め餘り干渉をしない方針であると言ふから、どの程度の處置を執るか分らぬが、要は出來るだけ物價を低廉にして顧客の需要に應じ得る方……

暮れの間島奥地 (一)
附馬賊と鮮匪動靜
局子街にて　黎兒生

行き詰まりの狀態にある間島の暮れ氣分に附たりの馬賊不逞徒の行動だなんテ何れにしても餘りゾットせぬ話ではあるが云はゞ龍井よりは奥地にある局子街及百草溝領事館管下の近況も探りたく殊に注目の焦點となつてゐる琿春縣不逞鮮人の動靜に關しても直接の材料を握りたいとの願ひから九日の午後四時三十分龍井村發延吉行の天圖鐵道輕便一等車におさまつた……

申す私を合せて八名だが天圖鐵道の賃銀を擔ふ顧客は僅かに鮮人二名のみ、これでは天鐵も冥途が擲々に持てまい何とも御氣の毒の至り十四日から全線を通じての三等列車に優等車輛連結廢止もゴ尤もと運轉手ら贊成の意を表した

×

汽車は近來稀に見る大風雪の中をヒタ走りに走る朝陽川で延吉(局子街)行きに乘り替る頃には……

に乘替ると老頭溝方面から來た二三等列車に出合ひ幾多の乘客を增したが其多くは鮮人諸君で失敬な事ながら疑車內に收まる鮮人諸君とも思はれなかつたが自分としては取調べる權能も能へられて無い只默々として赤いストーブの火を無意識に眺めて居る

×

間も無く乘務車掌が入つて來て臨時二等切符の所持者たる先刻の鮮人諸君は車室を替た譯であるが驚く可き事には私が乘り替る早々目を付けた炭カキと十能は何時の間にやら無くなつて了つた、ストーブを盜まれなくて本當に仕合せだつた老頭溝から來た列車を延吉行に乘り替へて同車した局子街の……

ア栗原さんぢやないですか?』夫れまでは一人默々としてストーブ番をした私も內地人の話し相手を得て大助かり話題は弓削新君の運動問題に展開して同氏の御高說を拜聽しつゝトップリと暮れた頃の局子街(延吉縣)に着く

×

先宅島旅館に靜る聯絡地に賴を出し辻大尉に敬意を表し一時間の後旅館の一室に閉じ籠つた『局子街も不景氣ですヨ』とは女將の言此の夜お客としては自分一人不景氣の二字を裏書くものかなどゝ獨語しつゝ十時頃眠りに就いた夜の局子街には馬賊(豫族)が出現する相な

‖寫眞は局子街‖

功勞章授領者
既に五十三名に達す
【新義州】既報の如く富永平北警察部長は馬賊討伐に功勞ありたる警官に對し相當の賞與を與へる外に特に功勞章として功勞章(銀メダル)を授與する事となし九月下旬から授與者は左の五十三名に達したで功勞章は品切れとなつたので今回更に百個の注文をなした因に富永部長赴任後馬賊を斃したる數十一逮捕十四の多きに達し一方警察官は功勞章を受けんと頗る緊張活躍してゐる
▲厚昌署　坂本署長以下二十二名
▲東興署　巡查部長河野總德以下六名
▲楚山署　警部補木村永七郎、巡查白井船之助、高橋幸之助、山本午吉、加藤鎬安藤伊太郎、川優股三、李鳳河元、昌根、錦內周治、山元源作、石原銀次郎、高橋潤藏、巡查部長高原國三、
▲沼原署　巡查中野清次、金帝國、井上吉次、金山萬儀、韓補市、
▲熙川署　巡查部長林虎三、巡查宮崎正一、菊地外一、李東洙、今田端、孫珍楨

町洞總代協議會
【釜山】釜山府にては十六日午後二時より府會議室に町洞總代を召集し協議會を開いたが重なる問題は總代の任期が近づいたので之れが改選其他道廳移轉に對する諮問等であつた

釜商役員會
釜山商業會議所にては十九日午後二時より役員會を開會する筈であるが議案は各部會に於て決定したる議案で役員會の協議を經ざるものを審議する由であると(釜山)

杞憂に閉された 公州一萬七千市民
只管上城委員の歸公を待つ
【公州】道廳の釜山移轉に決定したる飛報を得たる公州一萬七千市民は其內鮮人を問はず擧つて其措置に驚愕し目先の態であつたが當地共榮會は去る十一日臨時市民に飛ばし即夜協議會を召集して爾後執るべき準備行動につき熟議する處あり結局同じ運命を荷ひ類似の運命に脅ゆる忠北淸州、鐵原、海州、江原春川の各共榮會に照謀し其意嚮を訊すと共に公州の執るべき進路を明示し合同動作を要望した結果海州からは一致の行動を執るべき旨回答あり陳情委員に擧げられたる鮮人有力者金甲淳、金潤煥、林昌洙、朴春緖外內地人側では小林面長、早川道評議員、丸山、杉岡、藤澤、田口、各道評議員總勢十三名は十五日午前當地出發京城へ向つた折柄知事會議に列席の關係道知事を歷訪して已に總督、下岡總監を訪問し其斷けの人的援助を請め更に總督府に懇願を引きなき底意を陳き十八日頃歸公の豫定なるが陳情委員を恐れる公州市民は無限の杞憂を抱きつゝ委員の歸公を待つて居る

局子街消防組織
【間島】總領事を迎へた局子街では總領事館で大枚二千圓を投じて購入したガソリン消火機に依る消防隊を組織すべく計畫中であつたが愈々……械は內地人側にて操縱する事とし從來の手押消火機を以て鮮人側の消防隊を組織する事となり其の陣容等に關し十七日午後二時から……詳細協議の結果部署も定まり第一部(內地人)第二部(朝鮮人)の兩消防隊が成立した

咸南職員異動
【咸興】咸鏡南道では左の通り職員の異動を發表した

給四級俸	道技手兼道警部官補	外岡與郞
給四級俸	道技手	小泉伍市
給四級俸	道屬	佐藤銀一
給四級俸	同	大原績恕
給六級俸	郡屬	定野秀一
給一級俸	同	菊池直理
給三級俸	同	飯長作藏
給三級俸	同	老山賢吉
給三級俸	同	矢野重義
給四級俸	同	河野愛藏
給四級俸	同	吉浦茂穗
給五級俸	同	金益濟
給四級俸	同	池泰觀
給四級俸	同	呉志植
給五級俸	同	崔文善
給五級俸	同	韓植周
給六級俸	同	全卿林
給六級俸	同	趙永熙
給六級俸	同	全寅燮
給七級俸	同	金興敎
依願免本官(各通)	屬	前田耕造

月給八十五圓ヲ給ス
月給八十圓ヲ給ス　同　藤原治三
月給七十圓ヲ給ス　同　久保良男
月給四十四圓ヲ給ス　同　金海鎭
依願免雇員(各通)　郡屬　尾西熙次郎
文川郡在勤ヲ命ス　同　金定鎬
洪原郡在勤ヲ命ス　同　楊春燮
高原郡在勤ヲ命ス　同　尾西熙次郎
依願免本官(各通)　同　金定鎬
同　楊春燮

未納金が多くて 年末の支拂に困る
平壤商議支拂命令を發す
【平壤】一時會費未納の申合せをされた平壤商業會議所も內田會頭氏が會頭に就任して以來漸く諸般に進み會費納入の如きも頗る成績良好だそうであるが過年度の分に至つては未納額六千九百七十六圓に達し此の未納金が年末迄に納入されぬと年末の支拂にも支障を來すので會議所では近く支拂命令を發すべく手續き中だそうである、尚ほ大正十三年度は十一月末迄で調定額一萬二百九十一圓で內收入額は七千八百九十八圓で未收は前記の通りである內に大正十三年度及過年度の分は未納總額は九千九百九圓で斯くの如く多額の未收があつては豫算などは一の空文に過ぎず到底十分な活動は出來まいと言はれてゐる

關東廳 大異動
民政署長
【大連】行政整理の結果關東廳では民政署長以下左の如き大異動を發表した
關東廳事務官　田中喜介
陞敘高等官一等　敘從四位
依願免官　參事官兼事務官　預金課長　田中千吉
免本官　事任關東廳事務官　大連民政署庶務課長　山川吉雄
大連民政署長　大連警務署長　發襲
奉天郵便局長　眞鍋良助
遞信副事務官　水川富平
依願免本官　事務官　今井俊彦
內務局預金課長兼內務局土木課長
即非官　天野作藏
大連民政署庶務課長を命ず　矢野久三郎
關東廳大連取引所長を免ず　田中喜介
關東廳大連取引所長を命ず　佐藤忠恕
同奉天取引所長を命ず　宮崎正良
依願奉天取引所長を免ず
長春警察署長　水野鋼治
勅大連警務署長

池友會例會
釜山池友會にては十五日午後六時からホテルに於て例會を開いた出席會員二十五名で食後ホテル樓上ホールにて……

今度は商人となつて 再び朝鮮の御厄介になる
當分は形勢を觀望します
秋尾前新義州專賣局出張所長談

【新義州】今回の行政整理に率先して勇退した國境在任高等官中に秋尾清見氏がある氏は新義州專賣局出張所長として就任したのは大正十年で未だ專賣制度が徹底されてゐなかつたので無暫な人々からは可成怨嗟の聲を浴せられたが普及徹底の爲部下所員共々孤軍奮闘數年に及び遂に今日の好成績を擧げた點に於て其手腕が認められ今回勇退を決意したのを取沙汰に上司の注意が再三であつたと云ふ此の惜まれて去る際に氏の人格が仄見えてゐる、氏は宵縣に生れ早くから文學に志し新聞記者たらんとした時代もあり又劇作家として天下に名を擧げんとした時もあつたが感ずる處あり役人生活に入り稅關吏を振出しに官界生活二十星霜內十八年は朝鮮に送つた本年四十五歲の分別盛り其の在職中の功績は多々あるが中にも管內各洞迄全部賣捌所を設置し販賣成績も他出張所に遜色なく現に限なく普及されるにつれて平安北道管內第一位に躍進した事を特筆すべきである、氏は家族同伴十五日夜多數の官民に見送られ內地に引揚げた去るに臨み語る『新義州在職三年半中色々變つた問題にも遭遇して來ましたが何やら大過もなく今日に及んだ事は全く官民諸氏の御後援と部下一同の勤勉の賜です何しろ官廳とは云へ全く商人と同じで我々の仕事は一寸想像も出來ぬものがあります三年前迄は煙草專賣の販賣には民間の人達が色々の苦心をされた事もあり……

春川の義士會
【春川】十二月十四日の義士討入の日を記念すべく春川公立小學校では午前十時よりお話會を催し坂神谷六三石原氏等の義士の講演あり尚春川公立普通學校では午後五時開會し……盛會であつた

惜まるゝひとゞ
全州を去る守山社會課長=石川全州署長=谷村全州郡守=久留島全北警察部長

廳員の頭を改善した　谷村郡守
【全州】谷村全州郡守は道の地方課長時代から元氣活潑で事務の敏捷なことは驚くばかりであつたが全州郡守に任じて以來職員を大いに督勵した時代は職員の大半が依然時代の腐敗を忘れて救濟に逐め有ゆる人力を盡したのであるが之れに從つて職員の頭もスッカリ改善され事務の敏捷と云ふことに定評を置くことになつたが谷村氏は郡守としては日淺く充分腕を揮ふ暇もなく家庭の事情で今回勇退した

不遇の　久留島氏
全北道前警察部長久留島親司氏は勇退して十二日全州を辭し別府に向つたが氏は全北では漸く管下を一巡するかせぬかで退職したが……

總督と……
した爲め身體に疲勞を來し全北では之と云ふ仕事も出來ず病氣ばかりしたので誠に面目ないが當分別府で靜養する考へだとは全く同情の至りだ

お馴染の　石川全州署長
全州署長の石川さんが勇退すると云ふ事になつた——惜い人だと誰もが口から口へ同情に言つて居る氏は福島縣の出身で各地を轉々し其間警視總監の巡査を最も長く勤め大正の山本權兵衛伯が海軍大臣當時から齋藤總督の海軍大臣に至るまで大臣の護衛を勤めたお陰で斯う云ふ方面の方々に知られて居るが氏は第一回の制度改正の當時渡鮮し井邑署長を經て道の保安課長になり全州署長となつて懇親に盡瘁し今日に及んだが其間常に郡守と折合ひ頗る宜しく管下の巡視には……を擧げ縣內の內鮮融和を圖り游石に適しいと云ふ全州署長を四年餘も勤めて惜まれて去るのである

木浦義士會
木浦では十四日夜小學校で義士會を開き例年の如く會員の感想談興として操り人形義士に因んで浄瑠璃等あり非常の盛會であつた(木浦)

道廳移轉 反對運動
各郡に特派員を送る
【晉州】晉州附近の各郡より道廳移轉に反對し晉州市民に同情する旨の電報續々入電して居るが實行委員會では近日開催の豫定である一府十四郡の道民大會の打合せの爲委員を各地に特派することに決定し十六日各出發した其顔觸れは左の通りである
▲咸陽山清丹城方面李康雨、下條貞次郎▲居昌安義方面徐瓚明、鄭尻市郎▲南海河東昆陽方面朴台弘、鷹島是▲泗川昆陽三千浦方面姜大昌、金錫鳴、關藤巖▲統營固城巨濟方面姜周洪、婁相晴、草頭議、松浦利三郎、▲昌原馬山昌寧方面趙應煥、鄭佑濟、原田定道、山川園包▲成安宜寧郡北方面鄭鎬根、上村重次郎▲陝川三嘉方面金在淑、淸水金三郎▲金海密陽方面申鉉轍、朴鎭煥

教育界の 功勞者
守山五百足氏

全羅北道の第一視學官として相當の治績を擧げた守山五百足氏は今回惜しくも勇退して悠々自適當分は別府に於て靜養するといふが氏は明治二十三年師範學校を卒へて以來今日まで三十餘年間終始一貫して敎育界に身を委ね獻身的に敎育方面に孜々として盡力した人である氏が渡鮮したのは四十二年で全州に住むこと十六年餘である此間全北の敎育界に貢獻したことは尠少でなかつた殊に氏は他道に魁りとする官立師範學校である全北師範の設立にも努力し郡視學時代に尤も學務の折れた仕事は他道に魁り公立普通學校の必要を感じ早速に設けられた社會課長に選ばれ其間日淺きにも拘らず……

地方集會
▲財務部長送迎宴【新義州】平北道財務部員及び金融組合聯合會の有志三十餘名は十五日夜料亭三橋にて新部長池田鵜氏と新部長新田磯平氏の送迎宴を催し席上園道理財課長及び齋藤金融聯合會理事長の挨拶ありこれに兩氏交々謝辭を述べた
▲記者團の野手氏惜別宴【新義州】警務課長を勇退して內地に引揚げる野手耐氏は不振續きの國境經濟界に奮闘して其の功績頗る多く然も在職四年間に公共事業に貢獻する處も多々ある關から特に新義州記者團は十五日夜料亭三橋に於て送別宴を催した出席者は十餘名の記者團員の外藤谷府尹井之上守備隊長の參加あり席上加藤鴫日社長は氏の功績を擧げ惜別の挨拶をなし野手氏亦鄭重なる答辭に記者團の健闘を祈り酒宴は小數の人々ではあつたが頗る盛會であつた

地方人事
▲永田藤三郎氏(代議士京城日報社長)上京中の處十三日歸連(大連)
▲金子平吉氏(遼東新聞泰東日報社長)旅順工大存置運動の爲十三日上京(大連)
▲篠崎嘉郎氏(大連商議書記長)特惠關稅實施運動の爲め同上(大連)
▲久保田東拓總裁　同上汽船に搭乘歸京(大連)
▲筒井竹郎氏(前滿鐵沙河口工場長)家族同伴同上見送盛んであつた(大連)
▲若田鶴平氏(新任平北財務部長)十五日家族同伴來任(新義州)
▲生田清三郎氏(平北道知事)知事會議參列の爲め十五日出府(新義州)
▲隈田政雄氏(平北警務課長)殿父逝去歸省中の處十五日歸任(新義州)
▲井田吉助氏(元平壤局電信課長)十六日平壤發大阪へ(平壤)
▲淺田淳三氏(京城局郵便課長)十六日平壤赴任(平壤)
▲池田與氏(新任道財務部長)十六日夜家族同伴赴任見送り人五百餘名に達した(新義州)
▲千賀公州地方法院檢事正　十七日午後着任(公州)
▲山口部長　公州地方法院判事部長から京城覆審法院に榮轉十七日赴任(公州)
▲玉名檢事　木浦支廳檢事に榮轉十八日家族同伴赴任(公州)
▲矢本公州地方法院判事部長　十八日午後着任(公州)
▲柳原公州地方法院上席檢事　十八日家族同伴着任の豫定(公州)
▲古橋東四郎氏(忠南內務部長)十六日京城出發同日午後歸官民の出迎を受け着任(公州)
▲堀江檢事正　十六日多數見送……

腸疾患の治療及豫防劑
ビオフェルミン
腸カタル・消化不良・鼓腸・小兒綠便に
全醫界に於て最も好評を以つて應用せらるゝ整腸消化劑

知名藥店に販賣す
大阪道修町　發賣元　武田長兵衛商店
神戸二番丁　製造元　株式會社　神戸衛生實驗所
263. 24—705

正月用意と主婦の心掛
忙しい思ひをせぬ様 今から時間割を作れ

お正月が近づいて來たので皆さんの家庭では夫々準備に急がしい事でせう新しい年を迎へるに就ても家事上のことは何かと色々ありますが

主婦へ 特におすゝめしたいことを二三申しませう新しい年にふさはしいものは門松でありますが近年は門松廢止の聲さへよくきゝますがさうた易くは廢せないとしても三ヶ所立てる處は一ヶ所に昨年のものよりは小さくといつた風に次第に

改善を することは結構なことゝ思ひます お正月から生活の一端でも出來るだけ簡易にすることはよいことゝ思ひますまた三ヶ日の家族の食事は十分の用意をして女中達には仕事をさせない様に心がけたいものです一年間の生活を簡素よくいとなむには今の中から時間割りを作つて置く方が遙かに有益なことゝ思ひます家事上のつとめはすべて主婦の

心がけ 一つであります から『一年の計畫は元旦にあり』といふ氣分を十分にかみしめて今の中からその用意をしておくことは大切なことであります

夕暮
櫻井小學校尋五　宮本良夫

夕燒小燒
あかね雲
きこりはかへる
鳥は啼く
夕燒空には
はがおちる
屋根へおちたら
音がする
夕燒小燒あかねぐも

から お歸りは時間制度でも組立て家庭に女中を使はず少くも本の一ページでも一つの

お仕事 でも數へるやうに心がけていたゞきたいと思ひますお正月の服裝のことについて申します洋服は晴服でなくともせめてこざっぱりとしたものを身につけるやうにし新しい氣分で年の初めを迎へるのは意義のあることでせう和服の服裝がエンビ服からフロックにそしてモーニングに變つて行つたやうに婦人の服裝もまたしまつ物でもよいやうな

習慣は これからの生活には最も必要なと思ひますまたお正月にはよく大勢の人々を呼んで大げさな宴會をする家庭のあることは一寸考へ物なことでありますせめて家族のものが親しい人達を呼んで樂しい語らひに時を過ごす

手輕季節料理
東京割烹女學校　川田一子

▲大根の味噌かけ

あまり太すぎぬ大根の皮を去りまして六七分ほどの輪切りといたします。鍋に入れ、その大根がたつぷりかくれる程に昆布湯をいれ、なほ、少量の白米を洗ひ、布で縫つた袋に入れて一緒にゆつくりと煮こみます。米と一緒に煮ますと、どんな大根でもよくあくがぬけ、にが味もとれ、頗る味よく軟かになるので御座います。かうしてよく軟かに煮だりましたら椀に取り、上から柚子味噌でも山椒味噌でも、また胡麻味噌でも何れも好みの味噌をとろりとした位にこしらへて、上からかけて熱いうちに頂くのです。

▲鮭の酢のもの　生鮭でしたらそのまゝ鹽鮭でしたら一日水につけて鹽出しをし、それを刺身のやうに作り、生鮭でしたら少量の鹽をふりかけて手早くかきまはし（鹽鮭なら鹽出しをしてもすこしは鹽氣が殘つて居ますからそのまゝで宜しうございます）十五分ばかり經つてから水で洗ひ笊に揚げ、布巾で水氣を拭ひ、二十分ばかり酢につけておきます。別に葱の白根を二つ割にして長さ七八分に切り熱湯に入れてさつと茹、水にさらして笊に上げて水氣を切りしばらく酢につけて置きます。次ぎに白味噌を擂り、砂糖を加へて裏漉をし酢と鹽とで味を加減し、前の鮭と葱とを酢から上げてよくしぼり、皿に盛つて白味噌をかけます

▲豚肉の團子　豚のもゝの肉の挽いたものを百匁とりまして、俎上に置いて今一度庖丁の刃打ちをしてよく叩き、鉢にいれ葱の微塵に切つたものと生姜の微塵切りとを小匙に一杯づゝと、醤油一勺半ばかりをいれてよくまぜ合せます。別に片栗粉かくず粉を適宜に水にとき一寸置いて上ずみを棄てゝ底に溜つたやゝ固い處を、前の材料の中へ流し込んでよく練り合せます。それを小さな團子に丸めましてフライパンにラードを煮立て、右の團子を入れてからりとする迄揚げ、皿に新聞紙を敷いてその上にとつてよく油を切りまして、六ッか七ッづゝ小皿にいれて出します。熱いうちの方が大層おいしいものです（了）

ワイシャツ洗ひ方
カラーの洗ひ方

▲カラーの洗ひ方は普通の洗濯ソーダ水の中に浸して暫く置いて汚れをすつかり落して硬石鹸水で洗ひ更に清水でよくゆすぎ出來るだけかたく絞る甚く汚れたものはホワイトローズで約三十分間漂白する一方カラー糊を作り洗つたカラーを入れて糊を十分にもみ込みかたく絞り更に乾いたタオルで包み濕氣を十分取つてからアイロンをかけるアイロンのかけ方は初め裏より始め後表にかけ平になつたら裏表かけるよくよくかはくまでかけつゞける良く乾いた所でツヤ糊をつけかたい板の上で鏝の尖の方を用ひてかけるツヤ糊は大和糊ショーフ液をつけそれをよくふき込んでアイロンをかける

ワイシャツは初め水洗をして置き汚れ白は灰汁を用ゆるか又は煮て洗へばよい漂白粉（ホワイトローズ）は二種の臭氣を持つてゐるが之は後の水洗の時酢酸又は亜硫酸液を注ぐとすつかりなくなるよう注いだならば乾かすこれを滑らかにするにはゼラチンを入る次にワイシャツは仕上が大事で多少の技巧がいるまづ襟廻序は衿を二つに折り前の脇をつまんで脇の所アラ糊を水に溶かして脇の所だけつけ又其裏りの糊を兩袖につけて後まく巻方は（一）上の衿の方を三寸位下へ折り（二）兩袖を中の方に折り（三）身頃を二つに折り（四）下の方にグルくと巻くかうしてしばらく巻いて置いて全體に濕りが過ぎた頃に開いて（一）背を二つに折りアイロンをかけ（二）兩袖にもかけ（三）衿にも裏よりかけ（四）前にかけ次に脊な上に出て兩方の袖を具合よくたゝんで脇の兩方に折ると仕上は出來上る譯である

家庭療法
にきび痣疣
（上）櫻井醫學士談

◆面皰は普通十四五歳から十七八歳の人に起ります。これは皮膚の面皰腺に何か故障が起つて、分泌した脂肪が一ヶ所に溜るためにできるのです、故に脂肪分の多い人によくできます

◆これと違つた膿を帶へるものもあります。それは人間には內分泌といつて生殖腺から一種の分泌物が出て血に交るものですが、この內分泌が刺戟となつて面皰が出るといふのです。がこれは別に心配な

◆また胃腸に故障のある場合とか婦人病のある場合とかにできることもありますが最も多いのは分泌した脂肪が皮膚の上皮の中に溜るためにできるのです

◆面皰は大抵廿二三歳を過ぎれば自然に消えてしまひますが稀には中年になつてから皮膚に變化を起して再び出て來ることもあります

◆面皰にはたゞ膿れるものと膿れた上に頭を持つのとあります膿を持つのは面皰の黴菌のためだと云ひますが、これは面皰の黴菌といふよりも脂肪の溜つたところへ外から黴菌が宿いた爲に起るので俗に面皰の蟲といふ白い長いものは

▲面皰は膿まないうちに指先で靜かに壓して脂肪の塊を押出してしまひ後は硼酸水で拭つて置くのが一番いい療法です、この時は指先の黴菌が入らぬやうに先づ爪を綺麗に洗つた上でなければなりません

▲面皰を豫防するのには平生脂肪の濃いものを避けるやうに、なるべく野菜を綺麗に洗ふことが肝要です、昔は糠の黄味を微温湯で溶いたもので顏を洗はせたものですが、硼酸水か牛乳で洗つても豫防にもなり治療にも効があります、始終顏を化粧する人には滅多に面皰は出ませんそれですから面皰は女よりも男に多いものです

菓子の話

◇菓子にはいろいろある、昔は菓子として柿、銀杏、栗などを用ひたので、菓子といふ字は果物よりでたものであるといふ、その後米粉、麥粉を捏て造つたものをも菓子として支那から來たもので、支那では菓具といつてゐる、その出來は、清明の祭りには火を焚かず、前の日から食物を用意しておくので温かいものがないから、それで菓具と稱してうどん粉に砂糖で作つたものである、今日のまんぢうも支那から來たもの

◇支那には菜饅頭、肉饅頭とあるが日本には肉饅頭だけ來たもので菜饅頭は今は支那料理に使ふ、オランダ人が渡來して洋菓子が傳はつて今では澤山の種類がある、だいたい和菓子と洋菓子に別ける和菓子は更に干菓子と生菓子（蒸菓子）に分け洋菓子にはまた打物と焼物、掛物に區別する、なほ生菓子は蒸物、煉物、寄物などの區別がある、和菓子は小豆、大豆、砂糖、寒天、澱粉、飴、蜂蜜、寒天、鷄卵、牛酪、牛乳を適度に調和して製造したものである、蒸菓子、干菓子、羊羹、カステラ、最中、餅、饅頭、打物、求肥、落雁、ビスケットなどある

◇洋菓子は澱粉、バタ、牛乳、砂糖、鷄卵などを主な原料としこれに芳香性物質を加へて製造したものが多い、洋菓子は和菓子に比して砂糖分が少く、芳香物が多く、和菓子はこれと反對である、特に羊羹、蒸菓子の如きは糖分の量が二割五分乃至八割に達するだから夕べすぎると胃を害することがよくある

化狸
櫻井小學校尋五　田中徹太郎

うらに狸がでたといふ
作兵衛さんが見たといふ
月のない晩暗い晩
女に化けて出たといふ
古い小さなやぶかげの
赤いつばきの木の下で
太郎作さんの立ち話
夏の日永の立ち話

玉を抱いて恨みあり （二）
多田作

晝の部＝友『ヨオ……凡作甘え眼話だぜ、とても無事に下宿にや歸れまえ』凡『ヒ、……モシモシ、ツム玉子か、ナニく此間の宴會の立て替え、ソンナに有つたのか？ナニ取りにやる皆他に附けてある馬鹿にしてるじやないか、何故モツト早く知らさないんだ、二十圓の賞與はそれで全無しじやねえか、來いつて馬鹿野郎誰が行くか』カジヤン、リンリンくく。友『此の間の勘定は彼女が皆お前に附けて置きやいゝつ言つてつたよヒ……』

來春のキネマ界
各社の陣立て

松竹蒲田は澁子、乳姉妹、金色夜叉……

又の大甘物に五寸釘寅吉等を選んで公開中を煽らうと云ふ、加茂では例の柳さく子が現代監督の下に、お傳地獄が出來るであらう、帝キネは今年引拔いたスター連が活躍して大呼物には五月信子の黴物『情火渦まく』が現れる外、小阪では時代連續物が現れる筈、東亞は、阪妻、澤正が國定忠次で捉討ちの功名を現さうとしてゐる外急なる事にはゆくまいが、撤彌八百蔵等を擬ふ豫定日活は松竹と反對に新劇の時代劇でマキノ氏三上六齋の朗しい所を覗つて高島愛子の『曲馬團の女王』や傀儡物に力を注ぐ外松之助劇も女優の新人、監督の新顔で大改革をして帝キネ東亞の時代劇を向ふに廻し大立廻りを始めこの外復活した國活も巣鴨から映畫劇時代劇の嫌ひなく劇作品が出來、お道樂視されてゐた小笠原プロダクションも『水兵の母』『天馬駈く』を用意してゐる外國會社ではパラマウントの『十誡』が日活とか松竹とか盛んに噂になつてゐるが、確な所では東亞封切料三萬圓と稱する、ユーナイテット社の『バグダッドの盗賊』がある、フォックスでは旨預けになつて居た『多恨なり』が春來りなば封を切らうとし、ユニバーサル社は從來の連續活劇以外にもジユエル映畫の面目を一新し、新にホワイトピッチユア等も漸次加へられてゆく筈、この外注目すべきは歐洲映畫の勃興で獨の『罪と罰』『伊のシラノド、ベルジユラック』『佛の『キーン』等皆米露の映畫界を脈はさうとしてゐる

家庭帳
馬鈴薯を美味しく煮るには

馬鈴薯を鹽湯する時には、鹽でも皮を剝いて程よい大きさに切るがそうしては味をそこねるから皮の儘茹る方がよい。そして丸のまゝで只一方の端を少しばかり切つて置く、軟かに茹上つたら手で撥はれる位のあつさになつた時皮を揺でむき（又は包丁で）適宜の厚さに切ればよい。斯うすれば形も崩れず、大切な養分が外に出るのも大抵防ぐことが出來るから一擧兩得である。

傳書鳩
醫者の不德義
皆佩生

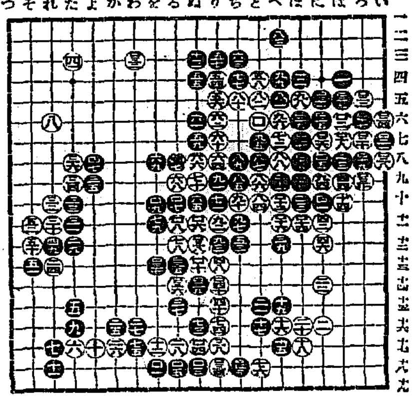
……投稿歡迎……
◇紙上の匿名は差支なきも別に住所氏名を明記する事◇中傷や誹謗は採らず◇字體は明瞭に十五字詰五十行以內

◇去る六日南山町で家屋崩壞し中一名の人夫が崩れ落ちる壁に打たれて人事不省に陥つたので大騒ぎとなり早速附近の病院醫師へ擔ぎ込んだが何んと云ふ無情者の揃ひか、此の瀕死の重傷者を見て收合はうとする醫者は一匹も居らぬ

◇先日南大門通りで支那人が切腹した時、僕は丁度是と同じやうな實例を見せつけられた、醫道の腐敗之に過ぐるものなく人道上實に由々しき問題と云はねばならぬ

◇醫は仁術なりと云ふ、何が仁術だ斯んなものを無税にして優遇する國家の氣が知れぬ、宜しく重税を課すると共に萬一前述の如き不德義を發見した場合には重刑に處して可なりである

圍碁新局 （七）
先 林有太郎（四段）　本因坊宇太郎（二段）

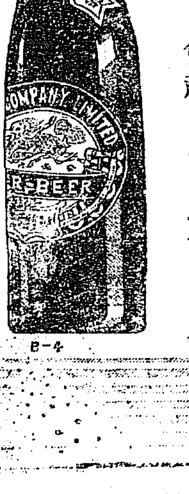


● 一二一 い七	○ 一二二 ろ五	● 一二三 は五	○ 一二四 い六
● 一二五 に六	○ 一二六 に七	● 一二七 ほ七	○ 一二八 い八
● 一二九 ほ六	○ 一三〇 ろ九	● 一三一 に五	○ 一三二 わ三
● 一三三 ち十八	○ 一三四 り十八	● 一三五 る十三	○ 一三六 る十四
● 一三七 を十三	○ 一三八 ぬ十二	● 一三九 ぬ十四	○ 一四〇 り十四

麻雀カード
支那が生んだ世界的家庭遊戲
麻雀は一人でも面白い遊戲で評判の世界を…
美麗高尚　麻雀カード　計算札付　百枚組　定價金貳圓
說明書　麻雀の研究　送料共　郵券代用一割増
御注文は振替にて　京城府黄金町二丁目　家庭娛樂研究社
特約販賣　京城日報代理部　日之出商行

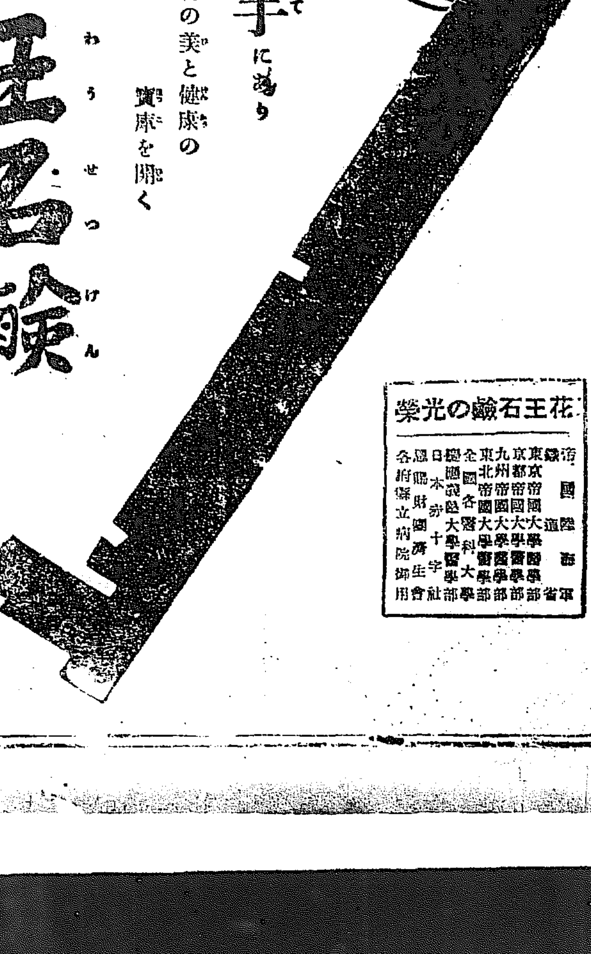
白鶴
發賣元　合資會社　增田屋商店

最近流行スタイル仕立
小供服　學生服
合服　冬服
外套
生地　新柄着荷
太田屋洋服店



キリンビール
キリン黑ビール
歳末年始 御贈答用 化粧箱 一打詰 半打詰
本支店共通の麥酒切手
橫濱　東京　丸ノ内　大阪
京都　神戸　門司　京城
福岡　金澤　名古屋　仙臺
發賣元　株式會社　明治屋

オシドリ椿香油
髮を美しく黑々と艶を出しふさくと心地よく
どんなにヒドイふけでも　ノーシン
ジャスミンローズの香り　舶來香水で　貴婦人紳士の御愛用さるゝ佳品なり



品質本位
花王石鹸
鍵は我が手にあり
皮膚の美と健康の寶庫を開く

花王石鹸の光榮
帝國陸海軍
鐵道省
東京帝國大學醫學部
京都帝國大學醫學部
九州帝國大學醫學部
東北帝國大學醫學部
全國各醫科大學
慶應義塾大學醫學部
日本赤十字社
恩賜財團濟生會
各府縣立病院御用

本年中に於ける朝鮮財界の推移(二)
—曲折に富んだ三月—

三月

鮮銀移管實施（一日）前月二十八日調印を了へた鮮銀の監督權は愈此日から大藏省の手に移管實施されることになつたが結小姑を控へての鮮銀の今後は又た一段と頭さくなつた譯だ

京取拘株（四日）昨年來兎角の噂を蒔きつゝあつた京取の拘株問題は漸く一部株主の間に力説され初め此日平井顧信子と釘本社長との會見となつたが遂に意見の一致を見ずして物別れとなつた

哈取拘株（七日）京取の拘株に亜いで又々拘株問題が起つたそれは所謂京城財界の特權階級とも見做れて居た古城、天日、釘本、牧山、吉田、富田の諸氏が去る十年創立された哈爾賓取引所發起株七千株のプレミアムに眼くらみ互利を博せんとして反つて抱込みとなり其の拂込みに窮した結果はトウノ\容て關係ある實銀に時價以上で見返り擔保として借出したことが端なくも禍根を招き兎角世上の口の端に上り始めたのであつた

東拓整理（同日）殖銀が内部の整理に火蓋を切つたので今度は鮮銀だ次ぎは東拓だの豫想は茲に適中して東拓では人件費に依つて二十八萬圓を又た配當減に依つて約四百萬圓を捻出するため先づ社員百數十名の首を馘り同時に幹部級の異動を行つたが京城支店猪瀬氏が赴任後に牛歳ならずして又もや大連に轉じ今の土居支店長が本社の資金課長から其の後を襲ふたのも丁度此時であつた

哈取拘株疏明（九日）以來爲然と湧き上つた哈取拘株に對する批難の聲に對し當面の責任者釘本藤次郎氏は其の顛末に就て長文の疏明書を本紙に寄せ天下に内容を闡明したが手段に於て何等疚ましい所ないとしても所謂特權階級の今日迄に於ける獨斷的行爲に對する一種の反感と拘株融通に利用すべき銀行の立場を顧慮に顰せめつゝあるには此時まで何等お氣付きなかつたらしい

東拓理事詮衡（十一日）臨川上入見兩理事の補缺として臨時總會では鈴木繁治田政次郎の兩氏を候補として詮衡した

上海航路決定（十五日）豫て伝唱運動されて居た上海航路は有吉政務總監の肝入りで朝鮮郵船の手で六月一日から實施することに決し此日各道の關係者を本府に召集して實行方法につき協議の結局仁川を起點とし群山木浦上海青島に週航し青島より仁川に歸航し補助金は關係各道から七萬五千圓を支出することに決定した

殖銀權限擴張（三月十七日）豫て申請中であつた殖銀の權限擴張に關する條例改正は此日聯議結果敕命許可となり即ち

一、社債發行權が之れ迄拂込資本金の十倍であつたのを十五倍に擴張
一、銀行の餘裕金を以て國債の指定する有價證券の募集引受運用擴張
一、貸出金の償還年限三十年以内を五十年に延長

等が先づ主なもので殖銀としては總ての點に於て餘裕を生じた譯であるが之れは獨り殖銀計りでなく朝鮮のためにも賀すべきことで平常至極面目躍つた有賀頭取の顔に如何にも嬉しそうな微笑みが浮んだのは此時だつた

實銀緊急會議（十八日）哈取拘株に端を發した實銀重役糾彈の聲に周章狼狽せる實銀では此日緊急重役會を開き善後策協議の結果山口太兵衛翁は重役を代表して本社を訪問一場の釋明をなすと同時に責を明らかにするの擧に出づべきを發表した

東拓銀券認可（二十六日）政府は東拓をして滿蒙資金融通の衝に當らしむるため東拓銀券の發行を認可したが今にして思へば之れは利に敏き支那商人の乘ずる所となり緩へず相場の變換を見越して不意打的の兌換を迫られ恰で翻弄さるゝに至つたことは神ならぬ身の知る由もなくさても是非なき事にこそ

實銀重役辭任（同日）十八日の緊急重役會開催と同時に山口老の辭職通り哈取拘株の責任者古城頭取を筆頭に吉田取締役釘本天日の兩監査役は此日何れも連袂辭任して責を天下に謝したが這は實銀の營業狀態や興論の聲から見て當然の處決であつて以上四氏が逸早く此所に覺めたのは此際熱るべき唯一の賢策であつた

鮮銀支店異動（十八日）鮮銀では安東支店外十餘所の支店長級の異動を行つたが這は今回の移管に伴ふ職制改正と共に東京北西の實現の前驅であつた

【東京電話】段祺瑞氏の密使來朝す ……段祺瑞氏の密使某氏は近く來朝し……

【東京電話】露國の對米抗議 不法行爲に對し ……露國政府は米國政府の……今回米國政府の採れる行動は勞農政府の到底承認し難い所であつて斯く……

京取市場の大新代引制限問題
事實上已むを得まいが 一取の考慮と努力を要す

今回京取市場の大新株に對する代用證據金の表に鑑し仲買組合では十六日緊急時總會を開き種々協議したが目下金融梗塞の際現在以上の代用方を認るは到底不可能なので結局日歩問題の協定を遂げ散會したが猶は京取市場が現下の金融狀態に大新取引高に對し此際の找出上（現取組高五千株）其代用を三千五百株と限定したものであるが一方理論上より見るときは或意味に於ける市場建株の膨張數までも限定するに均しく所謂膨脹の不可能となり果して市場の機能ありやと叫ぶべきであるが然し取引所の實際より見るときは市場の能力に限りある以上之れを無限に代用することは到底云ふ可くして行ひ難く況や近時一般金融は梗塞し難つさへ株式金融に對する警戒的なる際とて已を得ざるものと見られて居るが然し乍ら近來内地市場の好轉に伴ひ幾分相場の値市を大ならしめ漸次好況に向はんとする今日に於て此の制限は聊か一考を要すべき問題で當事者としては此際之れに對する緩和につき一段の考慮と努力を要すべきであらう

中旬 組合銀行帳尻
預金貸出增加

京城組合銀行十五日現在帳尻は預金七千百四十八萬八千八百十九圓貸出一億六千八百八十七百二十二圓にして前月末に比し預金二百八十二萬八千四百四十圓貸出二十五萬四千五百八十圓の増加であるが種類別左の如し（千圓以下切捨）

▲預金

	十五日	前月末比(△は減)
定期預金	[illegible]	[illegible]
特別當座	[illegible]	[illegible]
當座預金	[illegible]	[illegible]
諸預金	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

▲貸出

	十五日	前月末比(△は減)
貸付金	[illegible]	[illegible]
當座貸越	[illegible]	[illegible]
割引手形	[illegible]	[illegible]
荷爲替手形	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

▲手許在高

	十五日	前月末比(△は減)
有價證券	[illegible]	[illegible]
預ケ金高	[illegible]	[illegible]
金銀在高	[illegible]	[illegible]

而して前年同期並に前々年同期と比較するに預金は減少し貸出は増加である

好轉の兆ある金物界
内鮮を通じ春高氣分

昨年以來ギタ下げの商狀に在つた金物界は最近爲替の不利から外注を差控へ孰れ在荷は減少一方であつて新規輸入をするとせば目下の市價より約一割方の高價となり到底不引合の狀態であつたが昨今帝都の復興其他の需要漸く多く目在荷の減少に伴れて漸次輸入相場に接近し即ち鐵原板十三枚物の如き一圓以下では輸入は出來ぬが大阪相場は九十二、三錢處で取引されて居るが鮮内は結氷期需要不振の結果更らに滿鐵の八十九錢所を示してゐるが該は主として需要不振に基くもので内地斯界は漸騰の氣勢は在るも鮮内は不需期とて思はしき商狀もなく一般市况界の不振の結果先づ目先好轉は至難であらうが明年度は府營事業を始め其他諸建築計畫もあり殊に水利事業方面の需要は相當多い見込みであるから現在の内地高に照合しても當然高騰は免れざるもので目下逆鞘に在る丈け前途高を豫測されてゐるから一陽來復明春の斯界は好轉するものであらう
今試みに二、三に就いて逆鞘を示せば左の通りである（單位錢）

品名	大阪出來値	京城出來値
原板十二枚	九三	八九
塗板並八尺	四〇	一、三〇
丸鐵六分丸	四、七〇	四、二〇

以上相場に於いて約一割以上の逆鞘を示し此の外更らに運賃、諸掛を加算すれば驚くべき不採算となる譯である

南清華果のボイコットは
一時的だ

近時南清華果の上海輸出激進と共に彼地支那商人間では米國品を多少敬遠せる關係上鮮南清華果に對しボイコット起れるは既報の通りであるが右に付き住井三井支店長は語る
該品は西鮮果物組合から委託を受けて最近初めて支那上海市場に販路を開いたのであるが早くも好評を博して目下儘んに輸出してゐるが之が爲め外國果物が脅威を受けて遂にボイコットを斷行したものであらう然かし支那人の常として廉價で實質が佳良なれば直ちに買進むので現在は多少困難を感じるが將來は引續き大量に輸出されるものとして何等悲觀の要なく寧ろそれ丈け朝鮮清華果の注目を惹いた事を立證する事が出來ると思ふ

鮮銀券發行高

回收期に在つた鮮銀券は十五日限外擴張の認可に依つて增加され增發傾向となつた、而して今後年末需要と滿洲特産物出廻旺盛に連れて此の方面に對する增發を行はれるもので本年度最高豫想額の一億三千萬圓も餘す所五百萬圓となつた

十三日	一二三、四四四、二〇二圓
十五日	一二四、七四〇、七六八圓
十六日	一二五、一八二、〇〇〇圓

東拓貸出增加

東拓十一月末現在に於ける全鮮貸出額は定期一千八百九十六口、一千三百二十七萬四百八十九圓、年賦四千四百二口、二千九百八十萬七千七百九十四圓、合計六千二百九十八口、四千三百七萬八千二百八十三圓八十錢であつて前月末に比較して四十九萬七千六百九十六圓七十九錢の增加を示してゐる鮮内各支店別貸出左の通り

	口	圓
京城	[illegible]	[illegible]
大田	一〇七	[illegible]

大豆新値出現

連日強保合裡に在つた大豆は十七日亦々、通鐵物二十一圓、金汗二十圓七十錢天安十九圓九十錢と一二十錢高を示し愈々新値二十一圓臺出現して年末頓勢を揚げてゐるが本年は先づ此の過強保合の儘越年するものであらうと

海外・經濟電報（十七日）

倫敦銀塊	三二片十六分の五 二十錢高
米棉	不變
印棉	不變
米國爲替	四弗六九仙八分の三
スチール	一一八弗八分の一安
アナゴンダ	四二弗四分一 四分ノ一高

鮮銀帳尻（十六日）

發行高	一二四、一八二、〇〇〇
正貨準備	[illegible]
保證準備	[illegible]

財界見聞

京取の大新代引制限は金融梗塞の折柄とて無理からぬことだが、然し何だか實際能力を限定されたやうにも思はれて前途聊か心細さを感ぜずにはゐられない▲願はくば當事者諸君敢て大勢にのみ任せず少しは振興の策を講じては如何、京取不振の因素は玆に存するなきか▲近來會社銀行の社員や大それた行爲をする者が殖えて來た、紛ひ込むもの是か數はれた監督者非か、要はそれ八方に眼を配るにありとせば非難後者にありと評はざるを得まい、ゴ用心く。

株式（十七日）
一張一弛
歳末氣分濃厚

保合前場 昨鈍調の氣先今朝は大阪大新八十五圓八十錢から七圓三十錢の高値を見せ跡六圓六七十錢と下押す等相亂調乍ら氣丈の報を入れたが綿絲の一服鍾新の伴ひ惱みに警戒依然嚴くし結局大新は六圓八十錢から七圓十錢の上値を見せ六圓五十錢引の小高下保合を告げ京取は五圓トタ仁新一圓六十錢安取十一圓二十錢鍾新五圓八十錢と傚して變化なく仁取は九十圓六十錢かいを唱へしも賣物なく閑散裡に大引（短期前日止値比較）
△京取保合△仁新四十錢安△安取二十錢高△鍾新十錢安△大新十錢高

後場鍾新安 後場は大阪大新六圓三十錢から五圓八十錢を安値に七圓トタの兎高を入れ警戒嚴しく活氣難の場面であつたが大新は年末接近の折柄とて今朝も大阪綿絲高下の裡にも氣丈の報を入れたが綿絲の一服と鍾新の下押しに益々警戒嚴しく人氣の中心たる大新も一二の手口以外には見るべきものなく只氣ばかりの頑硬を示すに過ぎない有樣であるが斯く人氣が根底より轉換し來れる折柄として此際は兎や円の理窟は拔きにして此際の人氣に留同するより外仕方はまいと唱へられて居る何分歳末接近の際とて硬軟共に頗る自重の態度を執り居れる爲めに此際上下共突飛の相場を演ずるが如きことはないものと見られて居るが内地歳晩金融市場の情勢も何等懸念の要なき實情にあり歐米財界の形勢も引續き好調を持續し居れる等の形勢は容易に覆るべき時期に非ずとの信念を益々深からしめ來年年末尚を期待せしめつゝある折柄丈けに此際保合へば保合ふ程今後に於ける眞の興味は益々加はるものと觀察され昨今の鈍調も此意味から瞭る邊鍵と稱され此邊鍵の上は諸株一部高の活况を呈するに至るべしとの氣勢は次第に加はりつゝある情勢である

出來高

▲長期累計	三六 三四〇〇枚
▲短期累計	三五〇〇枚

▲京取保合▲仁新保合▲鍾新十錢安▲大新四十錢高

大新氣丈保合

新一圓三十錢安
錢の反落

新は大阪に連れ六四十錢五圓八十錢の安値から六圓九十錢と引返して止め戻りの商状を示したが鍾新は綿絲の暴落に一百三圓四十錢と下げ逆り大阪に於て前日同餅搗相場を緩返して大引

鍾新反落す

鍾新は今朝綿絲の暴落に大阪百五圓三十錢六圓トタから五圓七十下押しを入れ當前場は五圓七十錢から六圓トタ五圓三十錢と同價を繰り返し大引五圓三十錢まで買物もあり出合なかつたが人氣は矢張此邊保合後の高值を氣構へ安値は容易に覆つて來ない有樣である何分にも生絲工場新設を機會に一株七圓五十錢の拂込徴收説が人氣を支配しつゝある昨今とて此際綿絲の暴落に伴れて多少の下値は示しても結局所謂新舊株の鞘狂相場出現を期待され押すに從つて一層の反騰力を加へるものと解され鈍況の裡にも依然先高見越しの氣勢は頗る旺盛のやうであるつたが後場は綿絲安更に利きて大阪三圓九十錢から四十錢の反落を入れたが買氣強く四圓五十錢大上鞘を付けて大引した

京取釘付

京取は大阪の鈍調と共に閑買格別のものなくて候して小口手詰めの商内に過ぎないが今朝は五圓臺に小口の賣り物がありし丈買方見送り軟派も五圓以下は離けて結局五圓トタと保合を告げ五圓處には尚多少の賣り物ある模樣であつた後場は四圓八十錢と押したが五圓トタと返し保合て終つた

初相場豫想懸賞募集

初立會（一月六日）

一、京取株 短期取引前場寄付値段
一、仁川期米 前場三月限一節公定値段

右豫想を左記要項に依り募集す

一 等 金側時計 壹 個宛（二人）
二 等 本紙購讀券 三ケ月分宛（二人）
三 等 同 上 壹ケ月分宛（二人）

一、各題を通じ六名を限り附呈す、適中者多數の場合は抽籤を以て定め適中者無きときは最も近値のものより順位等級を定む
一、應募 葉書一人一枚一題限りとす
（京取、仁川期米を兼書一枚に連記せるものは無効）
一、締切 十二月二十八日本社着分まで
一、發表 大正十四年一月九日
應募者は住所姓名を明記し必ず『京城日報社經濟部』宛のこと

京城日報社

現株出來值（十七日）

長期

銘柄	前場 當限	前場 先限	後場 當限	後場 先限
京取 引寄	[illegible]			
仁取 引寄	九〇・〇			
新同 引寄	一三・〇			
鮮銀 引寄	[illegible]			
鮮銀 引寄	[illegible]			
同新 引寄	[illegible]			
殖銀 引寄	[illegible]			
同新 引寄	[illegible]			
電氣 引寄	[illegible]			
新同 引寄	九・九			
新同 引寄	[illegible]			
新瓦 引寄	一三・六〇			
同新 引寄	六・五			
同新 引寄	[illegible]			
鐘紡 引寄	[illegible]			
東拓 引寄	四・一〇			

短期

銘柄	寄付	大引	高値	安値
京取 後前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取 後前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新 後前	三・一六	三・一六	[illegible]	[illegible]
朝新 後前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取 後前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鍾新 後前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新 後前	八六・一 八六・九	八六・一 八六・九	八六・七	八五・八

仁川米豆取引所仲買人 松田慶之助

短期喰合尻

京取	四四一〇 六店 九店
仁取	三〇〇 二店 四店
仁新	二〇〇 四店 六店
安取	七〇〇 六店 七店
鍾新	二八〇〇 四店 八店
大新	五一五〇 七店 十店

算定と日歩

▲十七日	圓	算定代	引日歩
京取	一二五・〇〇	一七〇	二
仁取	九〇・〇〇	一〇〇	二
仁新	三〇・〇〇	一二〇	五
鍾紡	七〇・〇〇	七〇	五
安取	二〇・〇〇	二〇	五
鍾新	一〇・〇〇	九〇	五
大新	八六・〇〇	二四〇	七五

東京現株

▲十七日			
鮮銀	七〇・〇〇	同新	一六・〇〇
殖銀	四八・〇〇	同新	一一・四〇
東拓	三九・七〇	同新	一三・九〇
電工	三九・五〇	日糖	一八・九〇
鮮鐵	八九・〇〇	鐘毛	八・五〇
東株	一二〇・九〇	同新	一〇一・五〇
五分利公債	[illegible]	郵取	一五五〇

大阪長期取引

▲十七日	寄付	大引
大株	一〇二・一〇	一〇一・四〇
同新	八八・五〇	八八・四〇
鐘紡	八〇・〇〇	八〇・〇〇
同新	二七・九〇	[illegible]
紡新	一〇・九〇	四〇・〇〇
日紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
東新	一〇八・四〇	一〇八・四〇

大阪短期取引

▲十七日	前場	後場
大株	一〇二・〇	一〇二・〇
同新	八七・五〇	八〇・〇〇
鐘紡	二七・九〇	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
紡新	[illegible]	[illegible]
日紡	[illegible]	[illegible]
東新	一〇七・八〇	一〇七・七〇

米穀（十七日）

仁川期米
前場不勢

大阪後寄三十九圓八十錢と十九丁安を入れたるも當限は前日伸惱みの後にて賣物薄く當三十四圓三十錢中六十九錢先五圓〇三錢と一丁安に始めたるが大阪跡通節ヂリ安の六十八ゝを入れ形勢非と觀る賣物に當四圓二十五錢先四圓七十八錢と不勢に大引

後場持合ひ

大阪後寄三十九圓六十六錢と二丁安を入れ先三十四圓七十九錢と一丁高に寄付大阪三節六十九ゝの小締りを入れて八十九錢と返したるも大阪止め六十三錢の移りに七十六錢と氣甘く大引

依然不透明

一般から望みを懸がれた當限も納會切迫の今日依然不透明なる商況を繰返せるのみにて此調子では最期の五分間も餘り大なる期待は抱き難い様である常所は久しき持合いで人氣は四分に分岐するが如何にせん阪地は依然として堅調で地場は四分五裂の姿であるまれ地場上賣成に傾き居れば普通でさへ地場の成り行きに相場を支配さる易いのに此況して其の氣分が濃厚である年末の事でもあり或は寳方の手仕舞に乘ぜられて高納會を

▲十七日後場當限	中	限	先	限
(一)	三四・三〇		三四・七六	
(二)	[illegible]		[illegible]	
(三)	三四・二五		三四・七八	
(四)	[illegible]		[illegible]	
(五)	[illegible]		[illegible]	
(六)	三四・二〇		[illegible]	

取組高	當限	中限	先限
出來高	三萬六千九百石	四萬千七百五十石	八千八百石

米界餘聞

取組か大きいので動けないのかそれとも動かないから取組が減らないのかどちらにしても年の瀬を見かけての此状態では双方共拔きもならず剰しもならず隨分氣心が焦る事であらう▲四萬石以上の取組と云へは近來一寸稀らしい程仲買の懐で纏れて居る玉を踏らせ出すと合計二十萬石近くもあらうと云はれて居る程だからどう内餅を喰はせても云ふ玉は本の僅かで大部分は否が應でも大納會までに兎をつけねばならない▲結局何れから先に嫌氣づいて來るかは疑問だが其れが翻て各自相場の伸縮も餅搗きを始めるかも知れない▲急いでは事を仕損ずる慌てる蟹が穴に入れないの譬へ茲は互に自重が肝心である

双方腰入深し

朝の不勢は當限納會の切迫を感じたる丈けに小口買方の嫌氣をさしめたるも大手筋は依然方針を改めず頑張は案高見越しに押目を以つて買み又賣方は今日以外に金繰り丸等より賣玉の出來るも知れぬ急迫せしめつゝ、なは中地方へ賣を流して未來の實況に遊離せしめつゝ之が傳染なれば新春の相場は多少持ち直るやうとて一陽來復の立會を待て居る

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町三丁目
今村覺次郎
電話 長三六七・三六八

強氣の樂觀

鮮の手當米として阪地山田筋が付けたる鮮米は大阪神の三十六三十錢から高値五十錢見當の品最も多い樣であるが之を當限の期切りの失費は免れない更に先ても格下げ三百五十丁として約四十圓攝みと採算すれば受渡其他の雜費は見料で相殺すると觀丈が損失となる勘定で斯くも節の失費を要する米を以つて殖當に定期を賣渡せむとするは殆ど不得策であるまいと見られる方か寳地で受渡とすれば地方で賣るとしても擁き易い丈に受渡期は迫るに見通しはあるまいと強氣は云はれて居る

京城正米 季節と値頃にもあり奧地出廻り減少し内外にて心氣は堅調だが今相場は近て持合ひの狀態と在米り居る

仁川正米 丸本角...

釜山正米 現物設良都三十六圓七十錢神力三十五圓八十錢一方中限三十六圓五十二錢より四一

群山正米 現物

大邱正米 現物設良都三十五圓三十錢

鎭南浦正米 一月末限三十圓五十錢出來高五千二百石

各店の依合せ

當限賣方		買方	
丸イ	一、〇〇〇	丸金	八〇〇
丸玉	一、三〇〇	丸マ	五〇〇
丸ウ	一、〇〇〇	丸カ	三〇〇
ス丸	一〇〇	丸マ	四〇〇
丸カ	四〇〇	丸太	一、〇〇〇
丸玉	二〇〇	金福	三〇〇
金谷	九〇〇	山布	一、〇〇〇
丸イ	五〇〇	丸マ	八〇〇
丸ウ	二〇〇	丸イ	二〇〇
金益	八〇〇	丸福	三〇〇
問丸	四〇〇	丸布	一〇〇
丸玉	六〇〇	山中	九〇〇
丸ス	三〇〇	丸カ	八〇〇
丸ニ	二〇〇	丸太	七〇〇
丸タ	二〇〇	金大	五〇〇
		丸米	一、〇〇〇

○東京	前場	後場
▲十七日 一節	四一・〇〇六	四〇・七〇九
二節	一・〇〇	[illegible]
三節	四〇・九五	[illegible]
四節	[illegible]	[illegible]
五節	[illegible]	[illegible]
六節	[illegible]	[illegible]
七節	[illegible]	[illegible]
八節	[illegible]	[illegible]

○大阪	前場	後場
▲十七日 寄	三八・九二	三八・八五
止	三八・八六	三八・八六
中	三九・三九	三九・一九
止め	三九・一八	三九・二〇
一節	三九・八〇	三九・六六
二節	八一	六七
三節	八一	六九
四節	七九	六七
五節	七九	六六
六節	七五	六三
七節	七一	[illegible]
八節	六九	[illegible]
九節	六八	[illegible]
十節	六八	[illegible]

引跡氣配六十二錢

○神戸	前場	後場
▲十七日 寄付	三九・〇七	三八・八二
止め	三八・八一	三八・七五

○下關	前場	後場
▲十七日 寄付	三九・二三	[illegible]
止め	三九・一九	三九・〇五

○桑名	前場	後場
▲十七日 寄付	四〇・三〇	四〇・一一
止め	四〇・二〇	四〇・〇二

○大阪三品	前場寄付	後場大引
▲十七日 十一月限	三八五・二〇	三八五・一〇
十二月限	三七八・八〇	三七五・六〇
一月限	三六九・二〇	三六八・〇〇
二月限	三五九・八〇	三五八・〇〇
三月限	三五二・〇〇	三五一・八〇
四月限	三四九・〇〇	三四八・九〇
五月限	三四七・八〇	三四七・五〇

	前場寄付	後場大引
十一月限	三八二・〇〇	三七九・四〇
十二月限	三七三・五〇	三七〇・〇〇
一月限	三六三・五〇	三六二・四〇
二月限	三五五・四〇	三五二・二〇
三月限	三四九・〇〇	三四八・八〇
四月限	三四九・〇〇	三四二・六〇
五月限	三四三・七〇	三四三・三〇

津の國染小屋
【四十】 小金井蘆洲

吉野屋が『吉』なる程、それが好からう、桂木叡屋が腹抵をしないと云つたら如何な津の國屋でもこりや困るでせう、早速然らいふことに』と相談が出來て二人は神田今川橋の津の國屋へ往つて右の話をいたしました、挨拶に鑑りはない『イエ、先日佐竹樣からお二人、御家來といふお方がお見えになりまして、是非不束者の娘をくなる、こりやア困つたな』是りア途法に暮て挨拶も鈍つて居ると次の間に最前から右の掛合を聞いて居たのが娘のお染、親父の態度を見て密に呼んで『ちやア貰へて御家へ染、お父さん、私を佐竹樣へ側女に出して下さい、昔から家のお嬢樣が非常を救すつたなんと云ふことも物の本で見たことがございます、相手が佐竹二十四萬石の殿樣なら側女になつたつて別段恥でもございますまい、是非私を側女に出して下さい、佐竹の御役人が二人腹を切つて死ぬ、木本の大問屋がお二人お出入り止めになる、お父さんが先祖代々樣を本の津の國屋の身代が出來ないことんで來た桂木叡屋が出來ないこと、私一人のために方々さんが御迷惑をなさらんければなりません、誠にお氣の毒ですから、三月、また、お暇になつて歸つて來ることが出來ませうから『そう、か、お染能く聲作をして臭れた、

女にと云ふことでございましたが、私はお斷りをいたしました、譬へば百萬石の加賀樣のやうな御大身でも側女といふのでは承知がなりかねます、四石二人扶持の小身の方でも妻にしたいからと仰しやれば御相談に乘らぬものでもありませんが、こりやア折角ですけれども御縁のないことゝ思召ておすが、殿に似ずお染には、本人にも申聞けて聞きますが、御酒下されの儀は申掛を頂きたら存じます、彼は酒の三升も飲みますと親子共の見さかいがなくなりますから……』

傘提灯商 本町四 富士屋 電話本二一五六番

斷りを願ひたら存じます『イエそれは能く判つて居ります、判つてますが津の國屋さん、其處を大層な御勞で、殿樣の方でも御承知をして臭れないといふことになると家一私共二人は佐竹樣の御家知をして臭れないといふことになると、永代お出入商人ですが、其のお出が上がつちまうんです、其時に人が三つ兎に數はつて湯漬を渡ると云ふ世の話、親の口から豪手かけに行つてくれろとは云ひ惜いけれども、お前の口から云つて進んで往つてくれるのは何より嬉しい、それぢやア得心の趣きを先方にしませう』と、涙を流して喜んで、此の二人に得心の趣きを話しました、イヤ大安心をして立歸つて早速此の趣きを櫻井、桃ノ井の二人に物語る、これも命拾ひをしたんですから大喜び、津の國屋へ改めて桃ノ井櫻井が念を押しに來ました時に『イエ折角の御懇望

江戸趣味 蒲燒 川長

この間お出でになつた二人の御家來がお腹を召さなければならないから四方八方へ飛ばつ尻が往くのだから妾は拒げて御承知に預かりたい『それでも賦だと仰しやれば、御自分のことばかり考へて、人はどうでも好いと云ふお考へに相違ないんだから、尋ひ私共二人は今年の年暮をして居りますから、木場の仲間一統へ斯文を出して、御當家には一切お取引をしないことにしますから、お諦めを願ひたう存じます』どうも物兵衛殿々呆れ果てた、どうも扱い方まで集つて來るものだ、木場が取引をして吳れないといふことになれば商賣はあがつたりだ、御出來ない次第

でございますから差出しますが、始めから何うも側女に差出すといふことは世間の手前、親類の手前もどうかなりかねますから、娘めは御養女の御手許へ行儀見習ひのためにお屋敷公に差上げるといふことにしてそれから改めて御前樣から殿樣へお遣ひ物になすつたと云ふやうなことにして頂きたう存じます、それに存ながら申つておき

三國商會 黃金町販賣所
撫順炭、官製煉炭 電話本二九九〇番 木炭小口販賣

將棋 詰手（ゝ）完

於千葉縣八日市場町宇井忠雄氏邸下總聯合將棋大會
飛落 ▲七段 禱邑木光治(東京) △三段 小林和三郎(成田)
圖は前號指了迄の局面
▲持駒 小林氏金銀歩

△六九銀（ナラズ）▲同玉△四五桂▲八四馬△五七桂（ナラズ）▲同馬△五六香▲六八馬△五八金▲七八玉△六八金▲同飛△同龍▲同玉△四六馬▲後にて禱邑木氏の勝
總評
本局は下手方序盤に於て力戰趣向にて四五歩の早突手段が過激なりしと手順に於て誤まりありし爲め上手方より急襲され駒損となりたる爲め遂に敗られしは是非もなか

◇福壽草水仙の配布新年の觀花盆栽として珍賞せらるゝは福壽草、水仙、雪割草等なるが共名產地たる信州下高井郡延德村宮島友長衛氏は今回二萬人を限り送料荷造費共拾八錢を送れば濃黃金色八重拘巨大輪咲一芽に數輪着花の福壽草五芽一組を送り又十芽參拾五錢二十芽六拾五錢又水仙濃黃金色中狂獅子出球拾五錢十球參拾錢二十球五拾·雪割草各色混合十芽拾五錢栽用赤實性白實性の南天取合せ五本貳拾五錢拾本五拾錢の實費にて何處迄も急送する

物理療法

一般に施術致します

難病も適切の療法を施せば忽ち根治す

適應症

適應症も複雜なる技術と周到なる注意とが無ければ利かぬ

神經痛、リウマチス、神經衰弱、半身不隨、關節炎、腳氣病、打撲症、骨折、胃腸病、胃酸過多症、肋膜炎、膀胱諸病、睾丸炎、るいれき、水腫、頑固な皮膚病、其他あざ、ほやけ等

京城日報社代理部 構内二四番

十二月十九日
（舊曆十一月廿四日）
▲壬申▲佛滅▲成▲鬼宿▲九紫▲吉方▲南▲金曜

▼九紫▲迂闊に手を出して失敗し易い日慎みを第一艮と西と巽が吉
▼一白▲身のほどを辨へて進まないと思はぬ失敗を招く東と坤が吉
▼二黑▲何事もすらくとはかどる婚姻轉居大取引有利西と坤が吉
▼三碧▲願分多くすべて好都合に運ぶ旅行縁談合せ乾と壬と癸が吉
▼四綠▲漸く調子づく日大きな計畫に着手して大吉乾と良と酉が吉
▼五黄▲進んでも退いても相當の利益を收め得る日西と巽と東が吉
▼六白▲物事の喰違ひ易い日新計畫は見合せて神酉と巽と乾が吉
▼七赤▲萬事利少き日驅け引きにほど因縁で吉巽と坤が吉
▼八白▲元氣旺盛大に鋭を磨くが進んで吉凶は新事を企業東と西が吉

祝六千號記念

順天郡職員一同

株式會社 湖南銀行 順天支店 電話五三番

順天慈惠醫院 院長 佐藤成太郎

泗川金融組合 初谷秀雄

泗川郡守 元勛常

固城郡守 李章雨

㊃ 泗川 泗川精玄所 電話一〇番

光州郵便局 職員一同

晋州郡守 山下正道

晋州公立農業學校長 增原薰三

晋州 丸小旅館 電話一三四番

慶尚南道金融組合聯合會

晋州刑務支所 職員一同

晋州 株式會社 朝鮮殖産銀行 電話六番

晋州電氣株式會社 電話五五番

晋州第二公立普通學校長 佐藤雄太郎

晋州第一公立普通學校長 井上謙治

晋州無盡株式會社 電話三四番

晋州金融組合 霜降松次郎

晋州 三中井吳服店 電話一五番

晋州金融組合 河村利香

晋州慈惠醫院長 西直忠

晋州 百貨商 間島佐七郎商店 電話五十三番

晋州 御料理 都亭 電話一七番

晋州精米所 電話二六番

晋州自動車組合 電話五〇番

光州慈惠醫院 境田民彌 高田昇 高橋重矩 本多良靜

晋州 鹿島組出張所 電話四四番

晋州 御料理並御旅館 望月 電話一八番

晋州 花屋旅館 電話一六番

慶尚南道廳食堂

晋州面長 柿部實之

晋州郵便局員俱樂部

晋州道評議員 上原三四郎 電話二〇番

晋州 清水佐太郎 電話一八番

晋州 株式會社晋州商友會 晋州煙草元賣捌株式會社

晋州 初音町貸座敷組合

統營面長 渡邊直躬

統營 慶南道評議員 服部源次郎

統營無盡株式會社 電話四一番

統營 朝鮮製綱株式會社 第二工場 電話四三番 電話一三四番

統營 慶尚南道評議員 辯護士 金淇正

統營煙草株式會社 專務 原田綱吉

統營 高等小學校長 大島信一

統營病院長 森定吉

統營郵便局 友愛會

統營 埋築工事 田中事務所

統營郡酒造組合長 簑浦熊人

統營 久原鑛業株式會社 統營鑛山事務所

統營岡山村 南浦漁業組合

馬山繰綿工場

馬山穀物商組合

馬山 鎭海灣汽船株式會社 電話六十八番

馬山 慶尚南道評議員 弘清

馬山府尹 寺島利久

馬山融和會

京城電氣會社 馬山支店長 澤井積一郎

昌原郡廳 職員一同

馬山刑務支所 職員一同

馬山高等女學校 職員一同

㊁ 馬山運送倉庫株式會社 朝鮮馬山驛前 (通八) 取引店 朝鮮運送店、倉庫業 鮮滿貨物取扱人

馬山酒造業同業組合

大典正宗	石橋酒造場
總若	井手酒造場
寒牡丹	原田酒造場
寶鶴	濱田酒造場
鶴林	西田酒造場
彌生	千島園酒造場
富久鶴正宗	永武酒造場
惣富士	村崎酒造場
松泉	松井酒造場
櫻正宗	五反田酒造場
松の友	三好酒造場
大正櫻	清水酒造場
井筒平正宗	平井酒造場

鎭海 三宅彦七

鎭海面長 織田巽

鎭海 慶尚南道評議員 松尾重信

鎭海 第一金融組合

鎭海郵便局 職員一同

麗水 山本精米所 所主 本田熊吉 電話四〇番 電略(ヤ)又ハ(ヤこ)

麗水郡廳職員一同

麗水 株式會社 朝鮮殖産銀行 支店長 龜井靜雄

麗水電氣株式會社 電話一三〇番

麗水郵便局長 藤井興

麗水學校組合管理者 田中淺吉

高瀨合名會社 麗水支店

京城日報

各方面に斡旋中 [illegible]

[illegible] の [illegible] 懇請 した

家と [illegible] 刑事を指揮したる [illegible] 名を [illegible] せるに [illegible]

[illegible] 川里の [illegible] 家内で [illegible] と氏名不詳五十五六歲の [illegible] とが

で死んだので [illegible] として間島へ護送された

文部省は來年一月二十六日より二十九日迄全國小學校體操教師講習會を開く筈であるが文部省督學 [illegible]

公會私會

◇總監知事招待　下岡總監

[illegible] 會では退官した朝鮮軍々醫部長牧田太氏を招待し二十日午後六時より朝鮮ホテルで送別會を開

▲日高丙子郎氏（間島光明會主幹）十六日夜入城眞洞修養團聯合會本部へ投宿滯在十日の豫定

▲馬野精一氏（京畿道警察部長）

七日午後三時 [illegible] いと非難に堪えられた列席するもの鈴木軍司令官以下軍幕僚第二十師團長引田中將以下師團

改訂增補 大建築學

三橋四郎原著
工學博士 大熊喜邦 改訂
工學士 小島榮吉 改訂
技師 横山信 增補

豫約募集　内容見本規定書贈呈　即時申込まれよ!!

▼全四卷▼ 洋裝菊判總布製美裝函入 ▼挿圖三色版石版木版色刷寫眞版凸版等 三千二百餘頁

備へよ統合大成せる大建築學を

三橋工學士原著「大建築學」が本邦建築界に一エポックを劃せる大名著たるは專門家は勿論江湖の等しく認識せらるゝ所なり。茲に昨秋の大罹災が與へたる貴重なる經驗に鑑み諸所訂正增補を加へ最新の圖を挿入して再び改訂增補版を發行するの運びに至れり。改訂者大熊博士は各官廳等の大建築に從事せられ現に議院建築の局に當らるる斯學の權威にして他の三學士は何れも錚々たる新鋭たるや論なし。

豫約申込殺到!!　御注文は即刻!!　配本は着金順!!
豫約申込期限　十二月廿日

本書收むる所和洋建築の全般に亘り地質の檢查基礎工事より構造設計材料施行仕樣計算東西建築史耐火建築耐震構造及び都市計劃等學理的に講述し小は一個の住宅より大はビルヂイング銀行會社商店工塲大邸宅別邸並びに神社佛閣等實用的に說明す。今や帝都は本建築を前にして多事多端各地方何れも舊弊を打破して建築界に一大更新の氣注溢せる秋に當り專門家技師請負業大工職官衙學校會社商店學生及び一般篤學の士に本書の豫約を紹介するものなり。

參ぜしめよ建築の企劃に難問の解決に

豫約略記
▼希望者は申込金六圓を添へ拾貳月迄に申込のこと（第四卷分に充當）▼分拂金六圓宛一月三月五月に拂込みのこと（申込金共計貳拾四圓）▼一時拂金貳拾貳圓に送本料四冊分を添へ申込のこと▼送本料毎冊に付市内十二錢内地三十二錢台樺朝滿六十錢▼刊行（一月）（三月）（五月）（六月）▲六ヶ月完結（送本着金順）

取次 全國有名書店

豫約申込所　東京日本橋南茅場町　大倉書店　振替口座東京二三八番　電話浪花四一四〇・一二五二〇番

實業之日本

進呈　特許商標の理論及出願要件を解說せる特許の栞新版出來申越次第送呈す　東京丸ノ内ビルヂング　石特許事務所

講義 [illegible] 東京 [illegible]

婦人洋裝講習錄

理想的通信洋服學校
▼これからの婦人は洋服裁縫と▼洋裝の知識がなくてはならぬ▲
▼本講義錄はすべてメートル尺と鯨尺とにより時尺と日本尺とを對比す [illegible]
等婦人男子洋服一切を習得出來る
▼五ヶ月卒業▼會則二錢切手封入申込あれ「服裝研究」進呈
▼全會費拾圓▼
東京市日本橋區檜物町九番地　[illegible] 洋裝研究所

毒語

主筆 高橋嬾洋
▼創刊號出來▲
毎月一回一日發行 [illegible]

年末多忙時に此一册を忘る勿れ　勇氣の活泉・商略の虎の卷

歲末賣出で當った實驗

此暮に一儲け出來る五十圓資本商賣

年末掛取の妙策

自轉車修繕業開業手引　青服生

歲末修養記事

一年を顧みて…　實業之日本社社長 增田義一
今や反省自發の時、新年の新なる活動に資するの時、必讀の論

歐米各國民の眞劍振りを見る…　我國民の墮落と救濟…　山崎延吉

貯金の三德…　不動貯金銀行頭取 牧野元次郎

見よ邁進振り

大黑屋玩具店主が一萬圓儲けるまで　五年目で成功した奇略妙策

おでん屋から刻苦　人類學泰斗　鳥居文學博士の昔時苦鬪談

本邦保險界の巨星　矢野恒太氏奮鬪傳　硬骨を以て一貫した痛快談

加島銀行東京支店　佐藤密氏の大活動　銀行界の驚異的な奮鬪振

賞與金利殖法　三宅勘一
實業界に賞出しの新人が今期から共會社で實行せんとす、流石は妙策

失職者を迎へるのは何處か　捨る神あれば拾ふ神もある　職者は必讀

▼新東株理事長岡崎國臣氏…芳水生
▼經濟的に觀たる北滿と蒙古…森永製菓社長
▼同業組合立の研究所設置案…鴨居工學博士
▼水銀から黃金へ…田中工學博士

經濟常識▼金の輸出解禁問題　誰でも是れだけの事を覺えて置かれよ　記者
▽刑事法學者（堀水生）…▽同志社出身の人々…▽獨乙現在の貨幣…▽倫敦だより（鳳田生）…▽金石文研究の學者…▽茶前茶後…

勉めよ強健に

效驗偉大 放射蒸熱治療機
實驗者の實話
▽根本的に改造された私…畫家 橫山大觀
▽臨床實驗より得た成績…醫師 亘理祐次郎
▽煩惱と湯婆が不用…總持寺 新井石禪

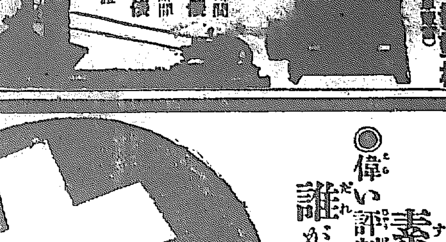
病氣治療に際して心得べき　肝要注意　醫學博士 額田豐

これから多くなる　咳の出る病氣手當　醫學士 櫻田十次郎

十二月十五日號　價卅錢　郵税一錢五厘　東京京橋南紺屋町　實業之日本社　振替東京三二六番

洋鐵鋼鐵道船舶 土木建築材料其他工業器諸機械附屬品商
角野商店　釜山本町 [illegible]

專賣特許
ヤンマー石油發動機
二、三、五馬力（在庫豐富）
ヤンマー
籾摺機と精米機
籾摺十時間 三百俵
精米十時間 五十俵
保證



山岡發動機工作所 [illegible] 支店
本店 大阪驛（梅田）東北　電話 [illegible] 七八番

ゐのくち式 渦巻ポンプ
大阪市北區堂島ビル内 大阪出張所
東京府荏原郡品川 荏原製作所

最新刊
運池…一、八九
宗教と藝術…松崎半三郎…二、一〇
捕物時代相…白井喬二著…一、六八
ダンテ新生…中林勘之助…一、七三
群を離れ…竹内謝著…一、八九
ばんざい！…一、三一
全體の回復…石原忠六著…一、八九
レイモンド…野尻抱影譯…一、六三
兒童社會學…增田抱村著…三、一五
社會學講話…永井亨太郎…六、八二
企業貿易論…木村太郎…三、一五
金と女の國…石井滿著…一、一〇
〃者の思想…馬場哲哉譯…一、五七
隨筆集…中村星湖…一、七八
破壞者…藤井清士譯…一、六三

京城 大阪屋號

筆生　[illegible] 三友社

日本一の大雜誌・定價僅か五十錢！

見よ！見よ！新雜誌キング！
素敵！素敵！全く素敵だ!!
●偉い評判！大評判！
誰が讀んでも面白い！これこそ諸君の雜誌!!
湧く樣な人氣！
到る處で問題になつてゐる
本誌出づるや諸方面より讃嘆激賞の手紙、激勵の言葉頻々到來。感謝感激！（左に其一班を掲ぐ）

キング

新年創刊號
破天荒！各方面大驚異！四大附錄つき
賣れる賣れる！
いくら刷つても直ぐ賣れてゆく只々驚嘆！

見よ！各方面の名士斯の如く本誌を激賞！

文學博士 谷本富先生

文學博士 澤柳政太郎先生

救世軍大佐 山室軍平先生
キングは上品な雜誌、健全な雜誌、何人も喜んで讀み得る所あり、如何なる家庭に入れても差支へのない出版物と敬服して居ります。

帝國小學校長 西山哲治先生

工學博士 伊東忠太先生

陸軍中將 堀内信水先生
花も實もあるとはキングを形容するに適する言葉だと思ふ。特に其價の廉なるには驚くよりは寧ろ怪しむほどである。

評判呼物記事三十篇

◎長篇小說 人間味…村上浪六
◎歷史小說 嵐を衝いて…蘭笙之助
◎熱血物語 名人達人決死の大試合
◎自治の眞精神…子爵 後藤新平
◎脚下を照顧せよ…曹洞宗管長 新井石禪
◎お喋舌小僧（落語）…宮原晃一郎
◎金出ろ銀出ろ（童話）…松廼家綠

隅から隅まで面白い

◎熱血小說 悲願千人斬（天下に殺はれた若君の行方）…下村悦夫
◎長篇小說 大久保彥左衞門（大久保彥左と一心太助物語）…松林伯知
◎家庭小說 獅子王…渡邊霞亭
◎通俗訓話 富の力智の力人格の力…高橋是清
◎衞生講話 不老長壽熱望者の爲に…醫學博士 二木謙三

新年特別五大讀物！

◎東郷平八郎…松平學圃
◎加藤虎之助…向井瑞穗
◎直江山城守…小泉長三
◎鬼將軍エフ・リー…高木哲夫
◎傑僧天海と忠彌…喜多見貞之輔

◎武勇小說 劍難女難（武俠無比なる勤王志士）…吉川英治
◎長篇小說 處女（可憐な二處女の運命を描いた苦心の傑作）…中村武羅夫
◎熱烈雄辯 英雄リンコルン…永井柳太郎
◎痛快物語 名士の腕白時代（痛快無比！少年時代の面目躍如）
◎成功要訣 如何にして希望を達すべきか…野間清治
◎何時も若々しく快活に暮す秘訣
◎軍神をも泣かしめた孝子清一郎（社會美談）
◎屋臺店から名舖となる迄の苦心成功談
◎怪奇小說 肉饅頭…伊藤銀月
◎探偵小說 罠の罠…奥田野月
◎傳奇小說 酒中仙…前田曙山
◎野田卯太郎傳

右は本號讀物の一部！一粒選りの讀物此外數十篇！

◎五千名當選大懸賞（面白くも出來る）

四大附錄

◎之は便利 面白い！ 新案番附六十種
◎廿六名家苦心結晶 人々よ醒めよ新れ歌へ
◎現代五十五名家選 金言・名句・修養訓
◎新春娛樂の親玉！ 新東京名所巡り双六

定價五拾錢（郵税三錢）
東京本郷 大日本雄辯會講談社（振替東京三九三〇）

先づ書店へ！
如何に良い雜誌であるか如何によく賣れるか
山と積んだ本誌が、またゝく間に減つてゆく！
賣切れぬ中早くお求め下さい！

張家口の支那軍隊 市中に放火して掠奪

帝國領事館危く難を免る 在留邦人損害甚大なる見込

【東京電報】外務省着電に依れば支那張家口駐屯第四混成旅は十五日突然兵變を起し同夜市中數十箇所に放火をなし混亂に乘じて掠奪暴行を擅にし十六日朝郊外に逃走した在留邦人中放火の難に遭つたもの三、四あり死傷者は一名もなしと邦人損害は莫大なるも目下同地の領事館で調査中である同地駐在の帝國領事館も一時危險に瀕したが領事荒井金造氏以下館員の防火に依り難を免れた該地の狀況は不明なるも同地方は本年八月未曾有の大洪水あり財界不況に陷り最近軍隊に對し給料不渡し問題起り兎角不穩の狀態を呈して秩序も亂れ第四混成旅長も目下北京に上京中なるを奇貨とし兵卒の騷動を起したものである此後とも同地の不安は去らず荒井領事は支那當局に抗議を申込んだ

六巨頭を招いて會議 段執政の新しい計畫

【北京十六日發電】支那人の談に依れば段執政は政事善後會議及國民會議の外に元老會議に類する巨頭會議を召集するの意ありと右巨頭會議は善後兩會議にて議決し難き事項に付き諮問し關係方面の重要者として目ある者を選ばんとする意嚮であるらしく人員は孫文、段祺瑞、張作霖、馮玉祥、盧永祥、唐紹儀の六名であると

負傷兵が掠奪

【東京電報】北京來電＝江蘇督軍韓國鈞氏は十五日齊燮元氏より江蘇督辦の引渡しを受け督軍に就任したが十四日以來無錫の負傷兵が撤金を要求し不穩の態度を示したが一部に行渡らず之等負傷兵は南京市外にて掠奪を爲した然し大事には至らざりしも各商店は午後六時以後は閉店した

ス博士大命拜受は疑問

【伯林十七日發電】ストレーゼマン博士は旅行地より十七日歸還の豫定にてエーベルト大統領は直に同博士に新政府組織を命ずべく期待される然し同博士の承諾は疑問である

蔡成勳氏被免

【北京十四日發電】臨時執政令にて督理廣西軍務善後事宜蔡成勳氏を免じ廣西督理の一職を撤廢し方本仁氏を廣西軍務善後事宜督辦に特任した

モロッコ國王は佛との親善を希望

佛國各新聞の報道

【ボルドウ無電十六日發電】佛國各新聞は西班牙モロッコ紛爭事件に關する記事を掲げタンジールに於て反動起らんと豫期してゐるマタン紙の報道に依ればモロッコ國王アブデル・クリム氏は頻りに佛國との親善關係を希望してゐる一方佛國政府は軍事的行動を採る者へはなきも第一の命令に必要なる凡ゆる戰爭手段を採つた而して佛國西班牙政府の間には一千九百十二年の佛蘭西モロッコ協定に關する意見交換が友誼的雰圍氣裡に繼續されてゐる

貴族院改正案

愈よ上程に決定した

【東京電報】政府は五十議會に貴族院改正案を上程するに決心を堅めた結果十七日午後三時急遽調査委員會を開き材料の整理及び意見を纏めた上十八日の閣議前に正式委員會を開き若槻横田江木塚本の委員も參加正式決定をなし閣議に報告する事となつた。

任山形縣知事（二等）　農商務省山林局長　三浦　實生
山形縣知事　岸本　正雄
依願免本官　農商務省工務局長兼同鑛山局長　宮内國太郎
免本官　書記官　水產局漁政課長
任臺灣總督府殖產局長（二等）　片山　三郎
任特許局事務官（一等）　内閣統計局長　阿部　壽準
食糧局長　川久保修吉
任製鐵所理事（二等）　農商務事務官　鈴木　武志
任製鐵所理事（四等）

上院改革委員會

【東京電報】政府の貴族院改革調査補助委員會は十七日午後三時より首相官邸に開會前回に於て各種材料を分類した案に付き審議の上調査を全部終了せしむる方針である而して右成案に就き十八日閣議に報告される筈である

機密漏洩訓戒 首相から嚴達

【東京電報】加藤首相は近來官界の機密漸く外界に漏洩するを氣にし十六日文書を以て各方面に訓令し『近時官紀紊亂して官界の機密が頻りに漏洩するは不都合である將來嚴重に之れを戒めよ』と言明嚴達した由である

補給費約三千萬圓 一般、特別兩會計を合して

【東京電報】行政整理に伴ふ補給金額に就ては目下補給委員會で色々異論があつたが一般特別兩會計を合算して約三千萬圓に達する由である

一、官吏恩給金一千四百萬圓
一、營業費運轉支拂金　三百萬圓
一、退職者一時恩給賜金四百萬圓
一、風水害救助費　四、五百萬圓
一、陸軍官給費　二、三百萬圓

本黨議會策協議

【東京電報】政友本黨幹部會は麻布床次總裁邸に開會され五十議會の對策につき協議をした

首相憲政幹部招待

【東京電報】十七日正午加藤首相は憲政會各總務、院內總務、顧問等を官邸に招待し午餐を共にしたる上院內外に於ける政治運動、普選案、貴族院改革案等に就き諒解を求め午後二時散會した

外交官の整理 公使大使級

【東京電報】外務省の第三次整理は主として在外公館に及ぶ方針で公使級中明年三月限り整理さるゝは巴里、羅馬尼、羅馬法王廳、瑞典、矢田部、墨西哥、智利、波蘭、亞爾然丁、西班牙等である大使級中林、落合伊國、伯剌西爾田付等の更迭も早晩斷行すべきも命令はまだ發せられない

農商務省異動

【東京電報】十七日左の通り發表
大阪大林區署長　平熊　友明
任農商務省山林局長（二等）
製鐵所次長　副島　千八
任農商務省鑛山局長（二等）

警察を手古摺らせる 放火犯人の檢擧

また中には風の如く來つて、また風の如くに拏えて行くと云ふ、實に捷なること電光と出沒する雷の子の……伴ふと云ふものだ……いまその捜査に就て老練なる某刑事課の語るところは――「何と云つても一番骨が折れるのは……が起るのであるから必ずと云つていゝ有力な指紋が殘る。それは例へば強盜……指紋が割に有力なものと云つて捜査上に光明を投る譯だ。而して然も殺人は兎も角、これ等の職……ではなく強盜では……との間に入り込んだ搜査關係が……なく全く風來坊のやうな奴が……

未だ油斷を許さぬ

漸く存續に傾いた旅順工科大學問題

政府は此問題に付此數日來遂に存續止むを得ざる事を察知し、當初始め最早廢止を固執するものは無く、與黨三派の出身閣僚及び幹部も今更此の重大なるに驚き、貴族院、樞密院等は殆ど全部存續說に傾き、殊に樞府關係大官は此廢止案にして一度樞府の議に上れば大問題とならんと斷言せる有樣なり又江木翰長と長時間打解けて懇談せる結果によるも、今日としては最早存續に傾き廢止說一決止むを得ざる破目に陷れるものと見ぜらる、唯此際の問題は發表の形式如何に在る即ち
一、現狀の儘にて一切の問題を一年延期するか
二、政府が行財政整理を標榜せる面目上經費に相當の減額をなし或は科の整理等をなし大學制度を最小限度に維持するか、二案の外なく、後案とすれば大學完成後の經費豫算八十萬圓を五十萬圓前後とし內地大學に收容餘力ある採礦冶金科を廢して結末をつける事になるべく、次は
三、犠牲者を出すか否かにて此の問題は兒玉長官著京後（十四日）に決定を見るべく
而して舊藏對朝鮮豫算は來週（十五日より二十日に至る）の閣議に於て決定の筈なれば本問題も數日中には解決を見るべく然しながら同大學の當局內容に就ては當業者間にも種々の論議ありて廢止論の有力なる根據とされる節あるを以て一應存續決定するとせば在滿邦人及び教育、產業關係者等は同大學をして相當議にして特色と主張せしめ完成をなさしむる樣努力すると共に大學存續の要をなすべしと觀ぜらる

追加豫算 三千萬圓

【東京電報】本年度追加豫算は總額約三千萬圓にて其主なる費目と金額は左の如くである

旅大廢止反對 上院茶話會例會

【東京電報】貴族院茶話會は十七日午前例會を開き旅順工科大學廢止問題に關し意見を交換した結果議論相當あつたが結局廢止反對に意見の一致を見るに至つた

無條件で存續

【東京電報】某樞府顧問官談　兒玉長官は十七日の樞府委員會に對し無條件にて旅大を存續することに決した旨報告した從つて採礦冶金科も廢止されず只經費に於て削減さるることゝなつた

三角寄港實現か

大正十四年度より受命航路となるべき大連長崎及び、朝鮮航路は當局より五萬圓乃至に長崎市より二萬五千圓合計七萬五千圓の補助費により受命さるべきが未だ何れの會社に受命さるべきか判明せざるも該航路開始の曉は三角港に寄港ありたしと熊本縣當局から先般遞信當局を歷訪し要望する所あつたが長崎市が補助費を出して要望せるに一文の補助も負擔せずして寄港を望むは不當ではないかと與する所あつたが昨日遞信當局に突如熊本縣知事より多少の費用は惜まぬとの入電があつたので該航路實現の曉は三角港も寄港……

過ぐて密かに天下の輿論を喚起し得、各方面の理解と同情により略目的を貫徹し得るかと思はるゝに至りし事は東洋の平和的開發と日鮮の國交の上より實に祝福すべき事と云はなければならぬ。但何分デリケートなる政治問題の事故、今後如何に突發し政府豫定の行動を決行するやも計り難きを以て、此數日間本問題關係者の緊張的運動により最後の五分間に於て成功を確保せん事を希望すると共に政府理事官總藤次郎氏は報告して來た

旅大問題は解決した

十八日發表される 兒玉關東長官談

地となるべきが同地の受くる實利も又大であらう

【東京電報】關東廳の行政整理は組織縮小よりは寧ろ內容充實を圖る改整と云ふ方が適切である尤も事務總長は獻上したが外事課長は從來とても有名無實だつたから之を廢するも何等影響はない又新に財務部を設けて今後の經濟的活動を所期した豫算も當初四百萬圓整理を要求されたが折衝の結果百萬圓程度に留めた旅大問題は政府の諒解を得たので滿足なる解決を得る事となり明日（十八日）發表さるゝ筈であるが尙採礦冶金科廢止は無期延坑りの反對を誘發する懸念があるそれも政府とはよく諒解を得てゐる

光濟丸朝郵に引繼

既報官船整理にて朝郵會社へ貸下げらるゝ遞信局所屬光濟丸は愈々十五日限りにて朝郵に引繼ぐことゝなり十六日遞信局より吉村海事課長立會にて引渡式を行つたが同船は十七日仁川出航巡航船としての初航海に上る由

辭令（十六日附）

本府專賣局事務官　假川　勝昭
敍高等官六等　同稅關事務官　白石　快治
任本府稅關監視官　敍高等官七等　釜山稅關在勤ヲ命ス
同專賣局屬　飯目　勇紀
同　西田　四郎

任本府專賣局理事務官（各通）
敍高等官七等　同專賣局技手　鳩山鶴太郎
任本府專賣局技師
敍高等官七等
朝鮮營業主事　小島　節馬
朝鮮土木主事　宮崎　伊吉
陞シテ高等官六等ヲ以テ待遇セラル（各通）
本府裁判所通譯官　落合　右助

依願免本官

郵便事務監督 遞信局

では年末年始の事務繁忙期に際して各局所に事務支障のなき様目的を能率增進の目的で監理課長を初め監理課各員を本月二十五日頃から新年五六日頃まで出張監督の任にあつると

鐵道局關係豫算は大體において現狀維持

用品資金は特別豫算 新田工務課長語る

草間財務局長が攜へて行つた總督府十四年度豫算案中鐵道局關係の豫算案說明の爲鐵道部より新田工務課長が十七日夜十時發列車で東上したが同課長は曰く

總て成るべく現狀維持

と云ふ方針であるから唯直營になつて當然豫算形式を總督府の夫れに準據せしめたと云ふ以外には格別問題になり得る樣な變つた事柄はない。總督府の豫算形式に依つて編成し內容に於て鐵道部の豫算を二三割節減して成るべく現狀を維持すると云ふのが全部である。然し

例の用品資金

は矢張り特別會計を設置すると云ふ事に落着きはせぬかと思ふて居る。局長は現在に於ける京鐵局長と鐵道部長の大部分を合せた者即ち現狀維持と云ふ譯であるが然し鐵道事業は社會の狀況如何に依り事務の膨脹を來すものであるから或る程度迄の膨脹に對し得る餘裕に於て

豫算を請求し

若し社會の狀況が比較的不振の場合には唯止むる方針である。機關車其他車輛の增加は計畫としては現在の所定の見るべき計畫はなく唯龍山工場の建設然し十四年度に於ては殆ど難に止めてある。

滿鐵としての

權利義務へば元山海水浴場、傭城、朱乙溫泉等に關する權利義務は悉く之を繼續するものであつて鐵道局としては關係しないのである」

尙ほ鐵道學校

は現狀維持の方針に依り如何程經費を要しても現狀を維持するに必要な丈けの計上を見て居る。唯然し乍ら試驗として設けた種々の經營內容に對する撤廢補塡の機運は此の際不可能なるものが多く是は計上して居らぬ。例

建設改良費

一千萬圓計上

鐵道部經理課長談
又鐵道部の經理課長は同局豫算案の內容に就き概說して曰く

多少餘裕

「大體現狀維持の方針に立脚して編成したが然し直營豫算は會社經營の如く自由でない點があるから多少餘裕を存つ必要がある。鐵道營業時代の編成豫算に比して收支共に膨脹を免れない。營業收入の豫算は五千一百萬圓、支出の總額は四千二百萬圓であるが他線との連帶收支受拂戾金、代金、關稅、立替金、過誤拂戾割戾金等の收支金を控除すれば實際營業歲入三千六百萬圓、歲出二千七百萬圓となり歲入出差引九百萬圓

電興平電供電契約

料金引下は三月頃から實施 知事等の斡旋で成立

【平壤電話】平壤電氣株式會社に對する平壤電氣與業株式會社の供電契約は米田知事等の熱心な斡旋に依り成立し十六日夜柳屋ホテルにて發表されたるが要點次の如し
一、期間五ヶ年滿期後は契約を更改す、但し期間中と雖も解約し得るが此際は平電發電所完成する迄は供電を繼續するものとす
一、細目に至りては電氣課長に立案を一任す
一、從來平電が府內に供給する電動力は川前馬力の制限ありしを百萬馬力に擴張す、目下供給中のもの約二百基あるが此の利益は電興會社の所得とすること
一、平電發電は豫備として存置す
契約は大體右の如くなるが平電會社の料金引下に付いては
一、發電所の投資利息償却電力料金を現在收入額より差引き更に受出後の發電所維持費等を差引きたる額を以て現行料率より引下ぐ
右料金引下げは三月頃より實施する筈にして又電力供給は一月頃より實行する筈

國家の憂患（七）

守屋榮夫

英吉利

之に比すれば英吉利の八百億といふものは僅少い。併しながらつたのであります。從つて英吉利をして公債を減らさいふ方法を執るには……ある。例へば國稅收入稅は收入の三割、即ち十圓の收入のあつた者は三圓、而も地方稅の附加稅を加へますれば戰爭當時に於ては十圓の收入に對して六圓、即ち六割を課したのであります。それ程の重稅を負擔して英吉利の國民は公債を成るべく減ずるといふ方針を執つたのである。而も戰爭が濟みますると直に多額の公債を償却すると同時に國民の負擔を輕減するに努めたのであります。併しながら遙かに多くは減ぜられない。國稅收入額の三割に對し初めは五分六に更に二分五厘を減じたのであります。加ふるに酒、煙草、瀉飲料、其他消費稅に對して減稅を行ひました。之を英吉利の一人の負擔の貨幣を擧げるものと見てゐる。

用品資金は收支各一千七百萬圓を計上し是は多分特別會計たるべしと思ふ。尙建設改良費として一千萬圓を計上し鐵道用地買收代二十五萬圓も臨時歲入として計上されて居るから之を通計すれば總督府各局中最上位に位する甚大な豫算を擁する事とならう」云々

戰爭の最中に於ては百七十九圓であつたのが戰後は一九二三年に於ては百七十一圓であつて即ち八圓丈け輕減したのであります。斯くの如く一面に於て負擔を輕減し一面に於ては公債を償還し利を引下げ物價を低落せしめて經濟界の繁榮に赴く方法を講究して居るのであります。其結果が砂の爲替相場の上にも現れて來ました。英吉利の爲替相場は共後も戰局に在りました時には亞米利加の弗に換算致しまして三弗廿三仙約六圓四十六錢にまで下つたことがあります。一磅は砂の定率で四弗八十六仙といふのが普通の定率であるかと申しまするに爾後英吉利の財政經濟が漸次順調に復するに從ひ以前三弗廿三仙であつた磅の相場が段々高くなつて最近に於ては四弗五十仙まで漕付けて來たのであります。そういふ事から考へますと英吉利は一時非常な難局に立つたのでありますが最近に於ては國民上下の努力によつて財政經濟の難關を通り越したと申しても差支ない狀況に立至つて居るのであります。

我國の狀勢

然らば我國の狀態は如何であるかと申しますと、數年前に於ける我國の財政經濟の狀況はしかく悲觀すべき狀態ではなかつたのである。殊に歐洲大戰中には我が國の外國貿易は空前の活躍を呈し輸出超過の額約十四億に上り、正貨が二十一億を越ゆるといふ狀勢を示しました。而して海外に於ける投資が漸次殖えて來る、外國貨物の運送に依る船賃の收入が殖えて來るといふ譯なとか中堅として來る保險其他の貿易外の收入が殖えて來るといふ觀で外國貿易の發展に加ふるに此外の受取勘定が非常に良好に趣いて、一時我國にも黃金の波が打寄せて來た樣な感が致したのであります。其當時は御承知の通りに日本にも成金といふものが出來まして、種々の問題を社會の上に投げたのであります。

朝鮮は鐵道敷設が第一の急務である（一）

朝鮮鐵道常務　伊藤利三郎

鐵道の敷設は交通の上より文化普及の上より必要である事は今更吸々を要せぬが扱て夫れがどの程度に必要であるかと言ふに就ては其時及場所又は人々の考へに依つて往々見解が異つて居るので未だそれに關し明確な意見の立てられた事を聞かぬ

昔鐵道かない

時代にありては江戶長崎道の鉦行に一ケ月以上も要し又飛脚と言へる驛遞の通信に於ても關東大阪江戶の間を數日かゝつたと言ふ話であるからそれから考へると鐵道は誠に便利なもので今日の生活から言へば無くてはならぬ有難いものである事が然し既に鐵道の敷かれてある地方から見ると當てそんな不自由な時代が果してあつたかと不思議に思ふ位で寧ろ鐵道があるのが當然に考へ更に鐵道の有難さを感じない譯である、それであるから

鐵道價値如何

を論ずるには之を昔にし又鐵道のない場所に就て鐵道の敷かれてない場所から考察する事が尤も要領を得る所以ではないかと思ふ之此の關係を朝鮮の現狀に當するに朝鮮に於ける鐵道の現狀は依然として漸く南北を繼に入りて居るのみで少しく道を離るれば始めて其狀態に……

一般に鐵道の

敷設は産業の發達を助長するものと言はれて居るが朝鮮の樣な經濟狀態の低い處では鐵道の開通に依つて始めて産業の端緒を開發せしめる場合が甚だ多いのであると言ふても差支えないと思ふ。寧ろ鐵道は直に産業を興すものである物資が其地方に豐富であり又需要たるべき條件が具備つても之を要とする地方に運ぶべき適當なる機關が備はらねば徒らに物資は無用の長物として其まゝ永く死藏に歸するの外はない。其の交通の開けぬ朝鮮に於ては

物資の運搬者

としては始めてある地方の物の何たるを知らぬ原始的狀態にある地方があるので之を鐵道の敷かれてある地方から見ると同じ朝鮮でありながら斯く殘に隔てるものかと驚く許りである

一般に鐵道の

現に生産業者等が在來の方法にて運搬する場合……に依りては運搬費が殆ど……要する……

物資が直に價格に影響を及ぼす樣な事も甚しくない此の場合物品の流通地に於ける價値は殆ど無物を意味しないと同じことで交通の發達するに伴れて鐵道の便ある方は市場を擴大し又從つて生産者に相當利益を與ふるに止まらず

然らざる方は

生産者に於ても何等の報酬をも受け得られ狀態で又は何と言ふ不公平な事であらう朝鮮では郵稅の關係から地方の生産品の出荷狀況では運搬時に不便なる關係が殆ど交通の便がないから取引して居る割合が非常に多いのであるけれども其程度の差こそあれ此種の物資がまだ多い朝鮮に於ては耕地が灌漑……

くて地味も適合によく作れば相當によい物が出來ても運搬に便宜を得ぬ爲に生產者に利益を與へぬ關係から殆ど採算ぬものとして顧みる者もなく廢置する樣な狀態が即ち夫である

共他石炭鑛石

木材等に於ても同樣であることは交通の便が開くるに從つて自然其價値を生ずるに至るものであつて經濟市場に出ることの便否如何が、物の價値を增し又生ずることになるのである牛車の時代に牛車を利用し得る範圍に於て牛車程度の價値しか生産者に利益を齎さぬので其鑛業より云ふ價値の增加は誠に知れたもので或るが鐵道が出來て交通が便利になり市場が近くなれば其物の價値を增すことになるので同時に自然其供給を大ならしむることが出來る

人事消息

▲佐藤兵次郎氏（仁川警察部）山梨在勤中飯腕の間へあつた氏は十七日午後零時半龍山驛着任した

訂正　前號（五）とあるは（六）の誤りであります。

公債

債券特別高價に賣受申候。御報次第參上　竹下　商　店

公債

時取扱公債證券其他各種……京城府黃金町二丁目……

恩給

年金恩給證書……貸付……京城府……佐野喜平次

恩給

恩給年金金利低利御融通……京城府南大門通一ノ八二……電話本局二四四番

恩給

年金恩給扶助料……京城府……江州屋本店

譲る

京城府黃金町……電話……

譲店

貴店の……御問合せ……藥種商

看護

付添……年齢……五十歳の女……

ほね

つぎくじき治療　明治町……佛蘭西教會前……仁壽館　電話本局二五九五番

ほね

つぎ・くじき　明治町……中島病院裏へ移轉

招聘

診察……及見習看護婦若干名　急募　仁川　佐藤病院

給仕

一名採用……京城府南山町……

獵犬

英セッター・ポインター……

立木賣却廣告

一、立木……六九本　此材積……

以上入札……大正十三年十二月十八日　平安北道

京日案内

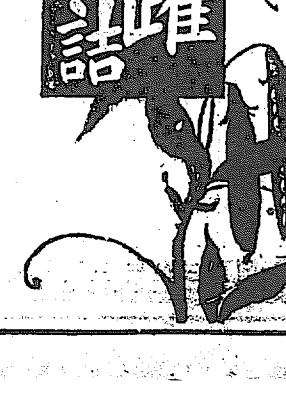
子宮病血の道さリウマチスに　神仙湯

仁丹

消化と毒けし

坊ちやんや孃ちやん方の運動と元氣と健康には仁丹は一日も缺かされません

金言　跳ばんと欲せば先づ地を見よ（西諺）

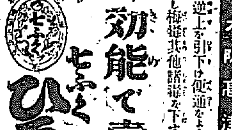


罐詰

日之出印 グリーンピース ―青豌豆―

日之出罐詰中の一つ　斯界最高の品です　大規模に嚴選しますから粒も揃つてゐて目覺める樣な青味があります　感じがよいから何料理にも隨分珍重されます

發賣元　大阪市東區安土町四丁目　株式會社　祭原商店



昔も今も

效能で賣れる　七ふく　ひやうそり

大阪高津表門筋　本家七ふく　伊藤長兵衛

一見一讀 心が躍る 珍書珍畫 九品

夜のたのしみ　結婚の當夜　美人裸體寫眞　春色梅ごよみ　珍本女の秘密　まじない奥傳　縮緬サック

東京府下……　信陽堂出版部

C 111

……乏しい捕者の中には龍分ノロ曉ーな悪漢や、純眞な強盜もあるが、……の肺むお手柄は流石、商賣がらと……は吾へ、そこには人知れぬ苦勞が……は殺人である。なぜならば殺人……となれば大抵そこに血瀬れ騒ぎ……その他に血糊のついた指紋が證……されるのだが、この血糊づきの……れは普通の指紋とは違つて大抵……證據者に都合した指紋……合は別だが）何しろ放火と來て……は一切のものが悉く烏有に歸……するこれに次いでは窃盜であ……るが此奴は脱盜のやうに大ビラ……出て行く限式の奴だから手掛か……りを得るに相當の苦心が要る……よその顔色や顔貌などは判るし……指紋その他が殘らぬにしても捜……

昨夜入城した三矢警務局長の家族（京城驛にて）

大臣室の前に 腰を据えた學生代表 文相怯け出す

既報教育改善運動を爲し極力目的達成に努めてゐる各大學專門學校學生の聯盟は當局の意嚮を聽取すると共に聯盟の意嚮を陳述する爲め先日來岡田文相に面會を求めたが何時も拒絶され十七日も聯盟代表三十名が午前十時頃文部省に出頭し文相に面會を求めたが依然拒絶するので會ふまで待つと學生側は大臣室の出入口前で動かぬので怯氣ついた文相はドアの内から鍵を掛けたり机椅子を重ね掩して籠城してゐる（東京電話）

三矢警務局長の 賑かなお引越し ―一家十人連れて 昨十七日夜入城―

東上中であつた三矢警務局長は夕刊既報の通り榮夫人と六人の令息令嬢に女中二人を加へて都合十人の一家族で賑かに歸城した

驛中に訪れると六人のお子さんに取卷かれて、局長も夫人もお守役と云ふ形である。同君は七人の子福者だが、長男の敏一郎さんは目下東京府立一中に通學中であるから親戚の家へ預けて、あと六人を引率して引越しといふことになつたのである。先づ小さい御家族を御案内に及ぶと

紀子さんの十三歳を頭に潤（一〇）國夫（七）倫子（五）妙子（四）隆夫（當歳）の六人

紀子さんは鐵嶺六年であるが潤ちやん、國夫さんと共に日之出校に轉校し、來春卒業したら京城の女學校に入學の希望であるといふが聰明で人形のやうに美しい潤ちやんである。音樂が好きでヴアイオリンに堪なもの今度はピアノを始めたいといふ希望である。七ツになる國夫さんもまだ字が讀めない時から樂譜を覺えたといふピアノの天才。その證據には列車の中で皆さんが『ヘーモニカ』の合奏といふ賑やかさである。之も御夫人のお仕込みらしい。榮夫人は至極打ち解けた愛嬌のいゝ方で『どうせこんな多勢の子供ですから、家庭の仕事にばかり逐はれて居ります京城は寒いと聞いて居りますが多少慣れて來たと思つて、當分閉込んで居りませう』と謙遜がいゝ。局長は『イヤどうも子供が多いので御覧の通り賑やかだ。私はあまり音樂は知らないので學問が第一だと勸めて居るが、どうも私とは方面違ひの子供が出來さうだ』とニコ／＼ものだつた。斯くて子福者の局長夫妻は昨夜七時に京城驛に着いたが、家族の引越とあつて驛頭には警務局の各課長を始めとして多數の出迎へで賑はつた。

一氣に 八百哩 飛行して霞ケ浦に歸着

門司で勇氣を失つた霞ケ浦航空隊藤池大尉外一名搭乘の本州横斷飛行機は本朝松山練兵場を出發し途中ガソリン補給を爲し八百哩を飛んで三時二十八分無事霞ケ浦に歸着した（土浦電報）

現地戰術 七十八聯隊今村少佐以下十四名は現地戰術の爲め十七日午前七時三十九分龍山驛發鐵原に向つた

歳晩社會の相 ―(14)―
萬引をした 虚榮の女 繪島絹枝が辿つた道 事務員から遊女へ（上）

一昨年の暮ごろ、きほやかな化粧をして、職業婦人に不似合な大島の衣裝を着けて明治町の某仲買店に勤めてゐる繪島絹枝（二〇）と言ふ女性があつた。龍山の某町にその母親と二人暮しをしてゐた至極内氣な娘であつた。彼女は僅に月收三十圓位しかないのに、燃ゆるやうな縮緬の長襦袢を拵へたり、明石ちゞみ、秩父と殆ど大家の令嬢のやうな贅澤な衣裝を着飾る事に趣味があつた。絹枝は始終高子に機嫌を取つて、午後の暇が閑になると直ぐエム吳服店に高子を訪れた、高子の前には始終美しい新入荷の新流行品が陳げられてゐた。

絹枝の勤めてゐる仲買店に勤めてゐる八木尚子と言ふ友達があつた尚子の叔父は府内でも裕福な暮しをして居つて姪の尚子を非常に可愛がり春夏秋冬その折々の流行の衣裝をつけさせ、尚子は絹枝に向つて始終誇らかに『今度のお正月には變小紋縮緬の羽織を拵へ樣と思ふわ、貴女はどう』と言つた、絹枝の一ヶ月に受くる給料では到底購求なかつた、絹枝は其度毎に尚子の自由さを思ふにつけても反撥的に非常な反感を抱いて高子に一層の友情を感ずる樣になり彼女を訪ねて目の前に美しい衣裝を見て、僅に滿足してゐたのであつた

▽

此年までは無事であつたが、遂に絹枝はある時殆ど恐怖に怖えながら罪を犯して了つた、丁度高子を訪れたら其時高子はゐなくて、仕入部にゐる若山と言ふ男の事務員がゐた。若山は兼てこの絹枝に熱い思ひを掛けてゐた、絹枝はそれをよく知つてゐた、土曜日の暮れ時で夜勤の人の來るまでには一時間餘りの時間があつた。絹枝は若山と一緒に目を偸ふやうな美しい衣裝を擴げて種々の新流行の話を聞いた、その話の間に若山が彼女の前に積み重ねて行く反物が五反六反とやがて十反にたり、積み重ねた上に辷り落ちた、彼女は男の前を見澄ますと素早くこれをマントの下に忍ばせた——絹枝は若山が既に氣付いてゐるやうなどゝは知るに由もなかつた。

數日が過ぎたところ、絹枝は店に行くと見慣れぬ男文字の手紙に接した、裏を返して見ると『若山』と言ふ字が一字認めてあつた、彼女は何故それが誰であるか直ぐ判つた、判ると同時に彼女の日の自分の犯した罪のことが考へられた、彼女は胸のときめきを感じながら封を切つた『この間は失禮しました、私はどうしても貴女を忘れることが出來ない、今度の土曜日に本町で夕飯を御一緒にしたいと思ひますが御都合はどうですか？』と言ふのである。——彼女は迷つた、第一あの日自分のしたことを若山が知つてゐたら、此の呼出しに應じなければ何んな返報をされるか知れない、若山は自分に對して何事を要求しやうとするのであらう？

▽

迷ひの日が二三日續いていよ／＼當日になつた、この日の午後末開から電話がかゝつて來た『是非貴女に話したいことがある少し秘密の話しですから誰にも知らない樣に一人で來て頂きたい』と彼女は行かうか、止さうか？と思ひまどひながら引摺られる樣に末開の玄關についた、女中が出迎へて言つた『貴女は繪島さんですか、先刻から若山さんが待つてゐます』居間に引かるゝ小羊のやうに慴々と座敷に這入つて行く絹枝の後姿を見て女中達は何か囁き合つて目を見合した（この項つゞく）

僅か二分間遅れた爲に 斯くの如き慘事を招いた 特務艦『關東』の遭難原因に就て 島野艦長病床にて語る

特務艦關東を遭難せしめた原因に就ては島野艦長は昏睡狀態から開かれた際詳しく陳述するからとて今まで語る事を好まなかつたが十六日朝舞鶴要港部病院に入院中の同艦長を慰問した記者に左の通り語つた

遭難の原因は未だ詳しく語れぬが左の二つである

一つは遭難した十二日午前二時頃鳥取縣境沖合を航行中猛烈な大吹雪が襲來し關東の艦首は六十度以上も傾斜した、斯る場合には隱岐に近づくと頗る危險であるから沖合遠くで吹雪の鎮まるのを待つのが最善の安全策であるが當時吹雪が時々パッと止み千五百米突以外まで視界が開ける事があるので之に引摺られて碇泊もせず沖合へ出て行く事もせず豫定の航路をとつて來た事が原因の一つで他の一つの原因は斯る場合に航海者の採る可き有らゆる最後の手段を講ずる事が僅に二分間遅れたことである然し遭難現場は斷崖絶壁から僅離れるのみで而も五十尋の深さがあるので錨一鎖を入れても此の慘事を免れる事は出來なかつた云々

因みに艦長の負傷は十六日エックス光線にて診斷した處膝蓋に龜裂があるので全治までには相當の日數を要するから二十三日の葬儀には參列することが出來ないだらうと頗る焦慮してゐた（東京電報）

金山爆發原因

去る十一日午後五時頃火藥爆發をやつた京畿道抱川郡永中面茶柳甚氏經營の永中金山の鑛害狀況は、十六日開通したが鑛山としての損害は酷く輕微であるが工夫長金能鎭（三〇）は右眼失明し工夫金能熙（二五）は右大腿骨を挫折した原因は爆藥裝塡の際にステッキで叩いたので爆發したのであると

紅蔘の 密賣者 京城に入込む

本町署司法係では一兩日前府内西大門外方面に多額の紅蔘密賣者が現物を携へて田舍から入り込んだと言ふ噂を耳にしたので活動を開始し十六日より十七日に亘り同署の刑事等二名が現場附近に張込んだが之を嗅つけたらしい犯人は十七日午後に至るも姿を見せず刑事等も空手を提て本署に引揚げたが近來大仕掛けの密賣團が頻りに府内で行はれて居る形跡があるので本署では徹底的に檢擧すると意氣込んで居る

鎭南浦産の苹果を 賣ると處分する 上海支那商人の決議

昨紙一部所報、上海に於ける鎭南浦産の苹果取引停止につき確實なる筋から聞く所に依れば右は上海北市果物市場商人の決議に係るもので本月十二日

〈南市果物市場果商人が去る十一月七日の日貨排斥決議に違反し日本苹果を販賣し國民黨政府の的となつて居るのは非國民的行爲の甚しいものであるから此際斷然取引を中止せねば組合規約に基づいて嚴重處分を爲す〉旨の宣傳文を全市に撒布したのに依るもので近く南市果物市場に於て同樣の決議をするに至るらしいが此ボイコツト騒ぎの裏面には或特別な關係もある見込で現に鎭南浦苹果は風味の佳良なると價格の低廉なる爲に一般向商品として可成人氣を呼んで居た事實から推して前途甚だ懸念される筋もあり日支貿易上需要の多いクリスマスを控へて北米産苹果が八〇〇〇箱入荷の豫定になつて居るおりも或るデリケートな關係が存在する樣に思はれるが今後再び輸送を要する場合には特に包裝も米國品に近からしめ一切日本新聞を包裝紙に使用せず且箱に三井のマークを附せぬ等充分注意されたき旨附記されてあつた折角多大の犠牲を厭はず新販路の開拓に努力して居る地方經營者の利害は勿論日本關係界の一問題として相當の對策を要するものとして十日鎭南浦府から平南道廳に申達した筈である（鎭南浦）

夫人の萬引から 樺山參謀長職を奪はれ 軍令部へ出仕を命ぜらる

十二月一日附を以て鎭海要港部參謀長に補せられた樺山可也少將夫人が過般東京某吳服店に於て萬引を働き東京府の手に取調べられた事に基因して愈參謀長の職を奪はれ既報十六日附を以て今般軍令部出仕を命ぜられ少將は近く二週の身を東京に運ぶ筈である（東京電報）

年の瀬が迫つて 電話局員の眼が廻る

年の瀬も愈々目の前に迫つて來たので各個人銀行會社等の取引が日を追うて繁忙になるに從ひ電話の通話數も激増して來たが十五日の通話數は本局四萬九千七百廿五、光化門三萬三千三十四、龍山一萬五千四百五十四同計九萬八千二百十三の多數であると之につき上田京城中央電話局長は語る

『現在中央光化門龍山三電話局の交換事務員は約三百人あり平常の勤務時間は午前九時より午後五時まで冬は午前九時より午後四時まで夜は少くしてあるのであるが歳末の經濟取引の繁忙な折になると通常の勤務の儘では交換手の手が不足して加入者に迷惑を及ぼす處があるから之が對策として交換事務員の勤務時間延長と夜の勤務に働かせ加入者に一方ならぬにする考へで之等の方法を講じて假令で凡ての人が用を達するに於ても私有の電話だと云ふ事を附けて一般に迷惑せぬ樣にして頂きたいと思ふ目下加入者は本局三千七百五十八光化門二千六百十二龍山千五百八十五合計八千四百人と云ふ多數であるが其等の人々が皆一大家族だと心得て常に使用したならば電話機關も圓滑に運ぶだらうと信じてゐる』

大馬賊團 森林地帶に隱る

【間島十七日發特電】安圖縣城を襲撃したる大馬賊團の一派は其後十六日に至り七百餘名は物資食品を掠奪して森林地帶に姿を晦ましたるが再び襲撃する意圖あるらしく安圖附近の警備に心なく[illegible]との情報に接した

毛糸が 廿錢値上 廿日から實行

手編の需要がますく盛んになつて行く折柄京城手製編物組合では來る二十日から毛糸の値段を改正し一磅につき二十錢方の値上げを行ふことになつた即ち從來四圓五十錢であつたものは四圓七十錢になる譯である

年賀狀は 早く出せ

遞信局では年賀郵便用の封筒及び郵便葉書各十萬枚を調製し全鮮各郵便局所を通じて先般來一般に配布したが當局者の談によれば年賀郵便の取扱は遞信官吏と云ふよりも寧ろ出すものは成るべく早めに出して貰ひたいと云ふのであつて其方が取扱ひ上利便である許りでなく先方も早く年賀の挨拶を受くる方が感じが良いと思ふと

應援自轉車隊 晉州に到着

晉州郡文山面より道廳移轉反對應援の爲自轉車隊[illegible]十七日午後[illegible]自轉車にて[illegible]到着した[illegible]

商友團宣傳

有志を以て組織せる商友團は[illegible]

東京福岡間 空中郵便の計畫 遞信省では許可する方針 來春四月から實施

日本航空株式會社が來春四月から大阪を根據として東京、大阪、福岡間の定期郵便物輸送飛行を計畫し十一日遞信省航空局に許可を申請した事は既報したが其計畫は約十三萬圓で川西式七型マイバハ二百六十馬力四人乘の純日本製飛行機十臺を以て毎日一往航二日で二往復の豫定で郵便小包郵便物八十瓩以下を搭載して、東西定期飛行と聯絡を採つて東京、福岡間を大阪を仲繼とし十八時間以内に飛行するもので、此の飛行便に託する郵便物は小包は百匁七十錢信書は一通九錢（遞送便に依る料金）で扱ふのである、右飛行機操縦は二等操縦士に當らすことになつてゐる、遞信省でも民間航空社に依託することは、期限上種々な手續きも要するので或は從來の郵便飛行に準じ郵便物の依託輸送の形式で先づ試驗的に許可を與へ、其成績の如何に依つて始めて遞信省として諸外國で實施してゐる特徵を採つて理想的の郵便飛行を實施する事になるであらう

商品切手賣買交換
三越、ちやぶや、明治屋、大和屋其他
御報次第店員參上
本町二丁目 文化まんぢう店 電本三〇七七

產婆養成講習

京城婦人協會京畿道支部では來月十五日より警務局官家族に對し第三回產婆養成の講習を開始する筈であるが時恰も行政整理で退職を顧念して出勤が羨れて居る職であるから希望者は至急に申込まれたいと

校内で焚火 乞食の所爲か

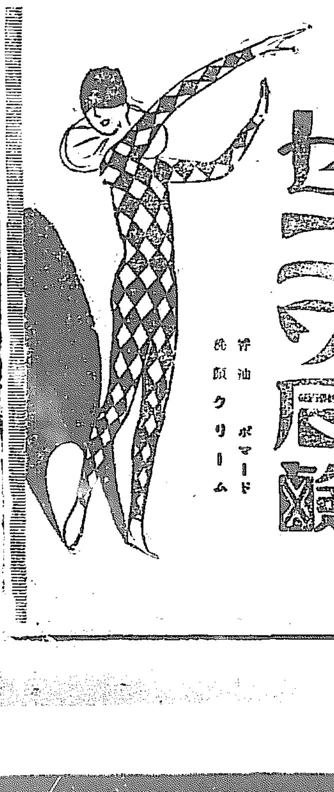
十六日の夜、府內藥東町三丁目の私立養正高等普通學校構内に於て何者か焚き火したるを今朝に至つて發見したが同校では時節柄破廉となり所轄西大門署に訴へたので同署から千葉司法主任等が現場に臨檢取調べたが多分、この寒さに慄へた乞食連が秘かに校内に這入り込んで暖を取つたものらしいと

吉野町の小火

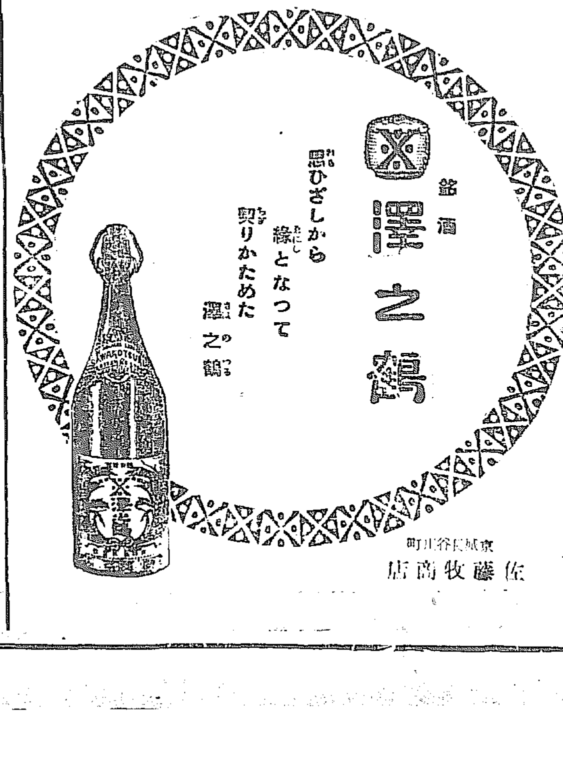
府內吉野町二の六五柳致議方から十七日午後四時五十分頃出火し草葺屋根の一部を燒いた丈で消し止めたが原因は同家の子供が火弄りして遊んで居たのが過つて燃え移つたのであると

家畜信託總會

京城家畜信託會社は來る二十九日午後一時より公會堂地下室京城食堂に於て定時總會を開催する由



高級化粧料 ゼニラ石鹸 香油 ポマード 洗顔クリーム



京城長谷川町 佐藤牧商店

澤田順次郎先生著 圖入 男女愛の 通の了が出來る法 新刊特價壹圓廿錢

處女から人妻も青年も必讀の良書はコレ

本書は有名な性學の大家澤田先生が多年の研究を發表せられたる珍書にて男女の性慾生活と男兒でも女兒でも望み通りの子を生む秘法秘訣を實物寫眞廿枚寫眞數枚入にて何人にも分り易く親切丁寧に説明しあれば子供の欲しい人欲しくない人も一讀すれば人生無上の幸福が得られる。

處女の性慾 定價四十錢 を一冊 無代添付

振替東京六三六九七 積文堂書店

家庭漫畫 全く素敵な贈物 宮澤浩

（一）夫『さア、又お歳暮の季節が來た。今年は何にするかなア』妻『矢張りアナタ、實用向で萬人向なものが一番いゝんですがネ』

（二）夫『さうだな、エート、去年貰つたもの〻内で、一番重寶で有難いと思つたのは、さうだ、ハチブドウ酒だッ』妻『あ、さうでしたのネ、それからアナタも毎日召上る樣になつて、お身体もズン／＼御丈夫になつたのでしたのネ…。』

（三）夫『全く豈麗元晴して仕方がなかつた。こんなに身体を丈夫にしたハチブドー酒だ、今年はぜひともこれだ／＼。』妻『ホントによくお氣が付きましたわネ。』

（四）夫『ウン、ハチブドー酒こそ實用向で萬人向きで、而も唯一の強壯飲料なんだから、先樣の御健康を祝ふといふ意味からも、お歳暮には持つて來いの品だ。』妻『全く素敵な御贈答品ですわネ……。』（三一二九）

雲を破る （24）

山田松琴 作　清水三重三 畫

行く人（一）

庭の植込には蟋蟀が鳴いて居た。すつかり開け放してある窓からは時々冷い風が吹きこんだ。その度に絞つてあるカーテンの裾が動いたり、卓子掛けが垂れた端を揺らつかしたりした。

肘掛椅子に掘れて居た直通は一寸首を右へ向けた。

マンテルピースに置いた置時計が一時十分を指して居た。

邸内は寂として何の物音も無かつた。

直通は眼の卓子の上の、展げた書籍の上へ眼を落した。

然し、彼はそれを讀むのでは無かつた。たゞぼんやりと眺めて居るだけである。彼の顔には心の懊悩が見えて居た。

扉が少し開いたまゝになつて居た入口の方から、誰と家内を覗いたのは妙子であつた。

『兄様！』

呼んだ聲で直通は顔を擧げた。

『お邪魔してもよくッて？』妙子は美しい顔に笑を浮べて云つた。

『いゝとも。』直通はうなづいた。

妙子は室へ入つて扉をピッシリと閉めた。

卓の前の方には行かないで、暖爐の椅子を窓の方へ持つて來て、直に成るだけ近づくやうにして腰を下ろした。

『お兄様はあの昨夜も仰しやつたやうにどうしても出ておしまひなさるお積り？』低い聲で、兄の顔を見つめて云つた。

『昨夜もお前が、種々と云つて親切な注意をしてくれたがね、僕はどうしても決心を翻す事ができない。昨夜あれからもどんなに考へたか知れない。けども、僕はどうしても此の邸を出てしまふより手段が無い』

『お兄様がそんなに御決心なすつたのなら私はもう何も申しませんけど』

『僕は御兩親に濟まないと思つて居る。お前にも濟まない事だと思つて居る。だが、僕は何うしてもお父様の仰しやる通りになつて居る事ができない。僕は華族の息子で生活て居たくない。爵位や家名で偽事をする事も好まない。況して久世田の娘と結婚する事なんか、絶對に厭なんだ。それを云ふと、お父さまのお氣には入らないと、見ッともない父子喧嘩をしなければならなくなる。と云つて、お父様の仰しやるまゝに服從して、自身を殺す事はできない。子の爲には自身を殺すのが子としての道だと古い道徳は教へて居るかも知れないが、僕はそんな活きた人形になる事は厭なんだ。また活きた人形になる事が必ずしも孝行だとは思へない。眞の孝行の途はまだ他にあると數へて居る。それで昨夜も熟慮した通り決心してしまつたのだ。

『お兄様のお心はよく了解つて居ますから。私も留め止めるやうな事は致しません。けども、お兄様が出ておしまひになつたら、お母様がまた、どんなに御心配をなさるか知れないでせう』

『そのお話は僕も愈々する事があるだらう』

『そしてお兄様は。家を出て、それからどう遊ばすお考へ？』

『どうするかそれは家を出てから後に考へる』

『でも何でせう。今度邸を出てしまひ遊ばしたら。もうお父様からお金をお送りになるやうな事は無いでせう』

『無論。そんなものを貰ふ譯には行かない。第一、何處にどうして居るかさへ、お報せはしない積りなんだ。でなければ、僕の居所が知れると、またいろ〳〵な面倒が起るだらうと思ふのだ』

『そしたらお兄様は、隨分と御難儀でせう』

『難儀は覺悟して居るよ』

『そしてあの、出て去らつしやる時には、お荷物なんかはどう遊ばすの？お父様に見つかつちや大變でせうから……』

『荷物なんか持つて出られない。僕はこのまゝ一冊の書物も持つちやあ出ないのだ』

『まあ、そのまゝ？』

『此の浴衣一枚だけで澤山だ。僕は此の體だけあれば好い』

『だつて。御病氣のあとでまだ何をなさる事もできないでせうし…お金が無かつたら何處へ行らつしやる事もできないぢやありませんか』

『家のもの唯一本持ち出しても僕の意志に反く。どんなに困つても僕は構はない。僕には自由があればそれで喜ぶものは無い』

『でも、その體では……』と氣遣はしさうに見て居たが『……お兄様、せめて、これだけでも、どうぞお持ちなすつて下さいまし。私の一と思つて、持つて來ましたから』

妹の手の上へ小さな紙包を出した。直通はそれを取つて展げた。十圓紙幣が三枚と、金剛石をはめた白金の細い指環が出た。

短歌

『水』——（一）——　尾上柴舟選

◇ 福山 繁野（京城）
湧き水の涼しきみれば山登り乾ける喉は音を立つるも

◇ 藤原 涙花（龍山）
山に來て枕の下にせゝらぎをひと夜眠ざめて聽く夜ふかしも

◇ 長間 淳（岐阜）
初夏の夕日斜にかけさせば水底のはる鮎のむれみゆ

◇ 夢 草生（開城）
女の指にふと水を呼ぶ庭の池して壺の濁井の濁かなるかな

◇ 栁原 房枝（京城）
涙水の跡の河原に掘つくらふ人にさみしう日はさせりけり

◇ 佐藤 諒十（京城）
病みて臥す枕の下にたよ〳〵るくたもの〳〵匂ひ水々しもよ

◇ 相良 佳（京城）
月かげの倚れる水際に寢なきて川一めんに黒明りせり

◇ 奈田不知草（鳥致院）
水涸れしまゝに秋立つ庭の草大方少さき實を結びたり

◇ 村田 洋吉（水原）
見深き井戸べに立ちて見おろせば〳〵りゆく水の心細しも

◇ 松永 露月（清津）
水だまりいまだも殘る裏庭にわらべとく出で土いぢり居り

◇ 宇津野柳冊（京城）
ひたひたと磯の眞砂にたはむるゝ水うつくしみ手をひたしみる

定州俳句會（帆影追悼）

反橋を越す提灯や冬の月　益城
氷江に現はれし人一人かな
風落ちて寒月窓にありに鳧　銀城
氷上を牛車靜かに渡りけり
温突の屋根こま〳〵冬の月　玄城
倦ろなる雌道尚し冬の月
生花の屑殺捨つる冬の月　吉甫
寒月や軒下暗き炭俵
寒月や竿に鐵りて涎かけ　東雀
厩箱を犬の嗅ぎ去り冬の月
寒月の古塀得ひ戻りけり　未及
寒月の靜けさ通る牛車かな
枇杷の葉にきら〳〵光り冬の月
寒月の山の端に出て杏色　鴎舟
隔間にさす寒月や厠窓
凹に消ゆ砧の音や冬の月　規仙
寒月に景品かつぎ戻りけり
寒月に干物鐵りゐたりけり　鬱香
戸の外の笹吹く風や冬の月
上潮に押され江氷響きけり　桃園
寒月に木一つ高き草家かな
水に落ち計りの木の葉氷り鳧　蛙聲
凍硯にさと熱湯を注ぎけり
漬物の氷とけたる夕げかな　梅光
氷採る鑿を人の圍みけり　五一三
寒月や岸底洗ふ水の音
寒月やきら〳〵と田圃道　多水
氷江を上げて一舟ありに鳧
張りつめて尚も眠るゝ氷鳧　露光
寒月や一人はしたる頬冠
寒月や酒幕出でたる冠影　津人
寒月に浮いて二條の鐵路哉
ほく〳〵と氷上踏んで見たり鳧　吟嘯
一木に寒月かゝり居たり鳧
花筒の氷まる〳〵こぼし鳧　城南
寒月に向いて鐘つき初め鳧
寒月や灯きらめきたる遠き家　鷺聚
あり〳〵と與の寒月ありに鳧
幷桁なる氷にのせし釣瓶哉　二飛
寒月や戻り來るなる按摩笛
橋の下の流れや冬の月　帆影郎
氷江に罅け歩みつゝけ鳧

川柳　井上剣花坊選

『足』——（四）——

佳句　幼稚園茄子に小楊子四本植ゑ　京城 夙夜堂
同　白足袋に紅緒がにじむ交換手　京城 近眼子
同　六合目一汗ふいて足を撫ぜ　象二浦 笑の人
同　ぬくまつた頃と冷たい足を入れ　清州 大公峰
同　念力を込めて奴を踏みしめる　釜山 觀花
同　手や足を拾ひあつめて比翼塚　鳥致院 琉句奧
秀逸の一　アルプスを歩いた足湯につかり　清州 紫知苦
秀逸の二　つまさきで世家の間どり見て廻り　光州 陽兵衛
秀逸の三　泥足を重たく運ぶ乞食の子　京城 天笛子
秀逸の四　支店長机の上へ足を上げ　龍山 三助
秀逸の五　つまさきでよせてどつかあぐら　象二浦 鳳凰草
秀逸の六　別々の血が通つてる芝居馬　仁川 流坊
候補の一　獄の消燈の足摺も靜かなり　平壤 春蛙
候補の二　當事を出る御走る音をさせ　象二浦 香作
候補の三　足跡を刑事睨くやうに見る　群山 紅ツ坊

人　京城本町三丁目 河原町辰
靴ずれを見せに靴屋へ下駄で來る

地　岡山縣撫川町 宗杭 藤本撫川
生き殘る雌魚足跡の水溜り

天　咸南北青郡北青面生 隈秀二郞
足跡を殘さず飛行機でのがれ

新刊紹介

▲飛行少年（新年特別號）發刊以來茲に十一年の齡を重ねた本誌は益々誌面に大革新を加へ殊に本號には加藤まさを、吳羽織郎兩先生の美しい口繪や挿畫が新年早々異彩を放つてゐる（本號五十錢東京京橋區入船町四ノ二日本飛行研究會）

▲赤い鳥（一月）童話、對話、自由詩、科學、童謠に於ては全く他誌の追從を許さない本誌獨特の色彩を發揮してゐる點は何より喜ばしい（四十錢東京牛込區市ケ谷田町三ノ八赤い鳥社）

▲子供之友（新年號）子供雜誌中一際目立つて感じの柔さ色彩の美しさは宛ら夢の國、お伽の王國そのものである（四十五錢、東京市小石川區關口町一〇四、主婦之友社）

▲九州及滿鮮電氣界（歲末號）三十錢福岡市西職人町七七九州及滿鮮電氣界社▲卓球研究（十一月）二十錢大阪府西成郡玉出町二九二卓球研究社▲廣告と陳列（十二月）八十五錢東京銀座尾張町日本廣告協會

▲日本教育（十二月）四十錢東京牛込區矢來町四南郊社▲東亞キネマ（十二月）五錢大阪市東區備後町二ノ二一東亞キネマ株式會社▲蠶絲（十二月）二十五錢長野縣上田市常野町蠶絲雜誌株式會社

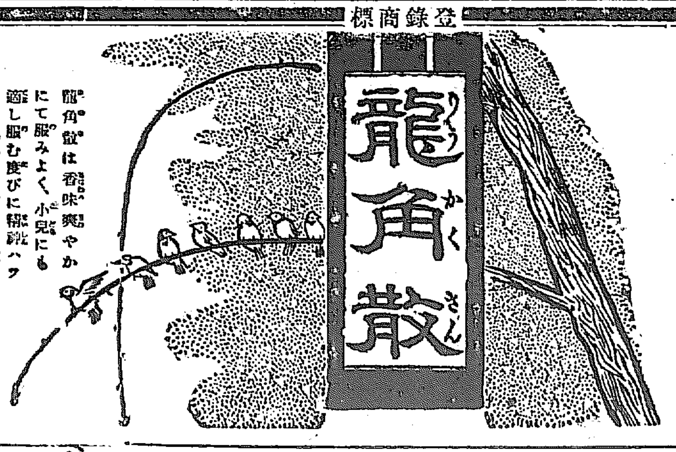
▲去る十二日京城本町一丁目大和屋で菓子三圓五十錢買つたら福引券三枚くれた故引換所では大和屋の判が押してないから無効だと申した（旭生）▲雜誌微光をお送り下さいました片山さまどうぞ御住所をお知らせ下さいませ（梅平邑内福藤ヒサ）▲染毛用の藥獨逸製「カート」は京城に販賣店有之候哉（やす子）▲市内にて儀式用水引細工をお教へ下さる處は御座いませんでせうか（大子）▲中學檢定試驗の期日學科目等御存知の方は御座いませんですか（受驗生）

登錄商標

愈々寒日來

たんせき ぜんそく
龍角散の活躍期！

たんせき、ぜんそくも寒氣に向ふに隨ひ、ます〳〵烈症を招き易く油斷すると（肺炎）（肋膜炎）（肺結核）等の恐るべき病氣を引起すことゝなります、されば、たんせき、ぜんそくはたとへ輕くとも直ぐ治療しなければなりませぬ。家庭の治療には痰咳喘息呼吸器病の專門藥龍角散のあることをお忘れなく逸早くお服用下さい



龍角散は香味爽やかにて服みよく、小兒にも適し服む度びに爽快ハッキリと咽喉の苦しみを完全に除き升。

かゝる人は必ず試みよ

◎たんにて常にゴホン ゴホンと惱む人
◎ぜんそくにてゼイ ゼイと息切する人
◎せき頻に出て夜中オチ オチ眠り兼る人
◎流行感冒より起るたんせきの人
◎肺病にて常に力なきせき出づる人
◎たん臭氣を帶び時々血の混る人
◎音聲のかれ又咽喉のいたむ人
◎百日せき又はしかせきの小兒

其他呼吸器疾患のたんせきは如何なる惡性にても凡そ一二週間續けて服用ばその効力速かに顯る

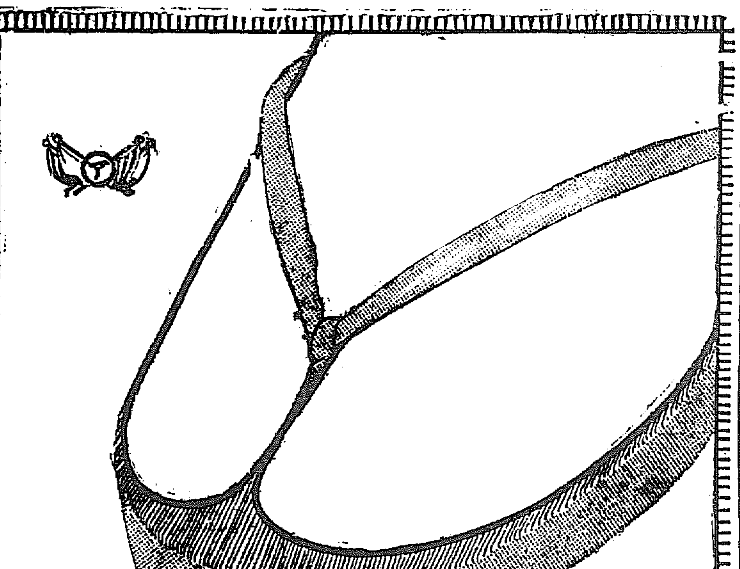
藥價

二日分	二十錢
三日半分	三十錢
一週分	五十錢
二週分	九十錢
五週分	二圓
八週分	三圓

東京市神田區豐島町
本舖 藥劑師 藤井得三郎
振替東京九一番

▲取次…全國到る處の藥店にあり▼

◎本舖へ直接御注文は振替送金又は切手にて願升



やはらかく 温かく おみ足を ウつゝむ

足袋は評判 秘流のコクヨ形
お穿きの度びに御滿足の聲を
新にして居ります

國譽足袋（こくよたび）

12343F-CF

ライオン齒磨

クリスマス

サンタ・クロースの小父さんは、
坊ちやん孃ちやんへの贈物に、
ライオン煉歯磨 チューブ入を
お求めになります。

何故でせうか？
それは申す迄もなく皆さんの齒を強くしてやらうといふ思召なのです。皆さん一どうぞライオン煉歯磨で十分に齒を磨めて下さい。小父さんもきつと喜ぶでせう。

此欄を點線から切り取り、送料郵券三錢を添へて本舖廣告部宛にお送り下されば、ライオン煉歯磨チューブ入小一個宛呈上致します 京城

ライオン歯磨本舖 廣告部
東京驛前丸ビル一階